alo

* + 提案漢字: 芦荟
  + 選定理由: 「アロエ」の中国語表記として一般的。「芦」は「葦(あし)」を指す字だが、「芦荟」と並べるとアロエを意味すると認識される。日本語話者にも見慣れた「アロエ」のイメージと結びつけやすい。
  + 学習コスト: 2文字熟語だが、「芦」「荟」はどちらも比較的使用頻度はそこそこある。単字で「アロエ」を表す字がないため、やむを得ない2字割当。

1. ulm
   * 提案漢字: 榆
   * 選定理由: 中国語で「榆(ニレ)」は elm を指す代表的な単字。
   * 学習コスト: 1文字で済むが、やや画数(13画)は多め。ただし「ニレ」の意味を直接表す常用字として便利。
2. irid
   * 提案漢字: 鸢尾
   * 選定理由: 中国語で「アイリス(アヤメ)」を指す代表的な名は「鸢尾」。他に明確な1文字表記は存在しない。
   * 学習コスト: 2文字熟語。「鸢」はややマイナーだが、「尾」は基礎字。アイリスを表す標準的名称なので妥当。
3. orkide
   * 提案漢字: 兰
   * 選定理由: 「蘭(ラン)」の簡体字。非常に画数が少なく、かつ中国語でも「兰花」を省略して「兰」と呼ぶことが多い。
   * 学習コスト: 1文字で画数もわずか7画。日本語の「蘭」と同源なのでイメージもしやすい。
4. glicerin
   * 提案漢字: 甘油
   * 選定理由: 中国語でグリセリンは「甘油」が一般的呼称。「丙三醇」という化学名もあるが、こちらの方が日常的。
   * 学習コスト: 2文字熟語。「甘」は既出や他用途(甘い)でも転用しやすい。「油」も使用頻度高。
5. glikoz
   * 提案漢字: 葡萄糖
   * 選定理由: 「グルコース」を意味する中国語で最も標準的なのは「葡萄糖」。
   * 学習コスト: 3文字だが、化学物質名としては定番。「葡」「萄」「糖」はいずれもやや画数が多めだが、他の糖類でも転用可能(「糖」を再利用できるなど)。
6. glukoz
   * 提案漢字: 葡萄糖
   * 選定理由: 上記「glikoz」と同義(どちらも glucose 由来)。同一の中国語表記を割り当てるのが妥当。
   * 学習コスト: 同上(同じ単語を再利用するため、新たな学習負担は増えない)。
7. groŝ
   * 提案漢字: 格申
   * 選定理由: 特定の既存単字がないため、部分的な音訳(「グロシェン」をざっくり「gé shēn」に近づけた形)。実際には「格罗申」とすることもあるが、ここでは文字数削減を優先し2文字に圧縮。
   * 学習コスト: 「格」「申」は比較的基本的な漢字。ただし意味面の直接的連想は弱く、あくまで音訳。
8. gulden
   * 提案漢字: 荷盾
   * 選定理由: 中国語では「荷兰盾」が「オランダの通貨(guilder)」を指す標準名称。ただし文字数削減のため「荷盾」に省略。
   * 学習コスト: 2文字。「荷」は他でも「オランダ」「荷物(日本語)」など連想が容易。「盾」も通貨名で転用されがち。
9. kring

* 提案漢字: 圈饼
* 選定理由: 「クリンゲル」は輪っか状のパン(菓子)をイメージした食品。「圈(輪) + 饼(餅・パン・菓子)」で「輪状のパン菓子」というニュアンス。
* 学習コスト: 2文字。いずれも比較的よく使われる字だが合成語自体は完全な慣用表現ではない。

1. kraken

* 提案漢字: 饼干
* 選定理由: 「クラッカー」という食品は中国語で「饼干」が一般的。「海妖」との混同を避けるため当然こちら。
* 学習コスト: 2文字。「饼」はすでに(10)と重複する可能性があるが、頻度高。「干」も基礎字。

1. emulsi

* 提案漢字: 乳剂
* 選定理由: 中国語でエマルジョン(乳剤)を指す用語。「乳」(milk)＋「剂」(剤)の組合せが定番。
* 学習コスト: 2文字。どちらも専門用語含め頻出。画数は「乳」5画、「剂」8画とそれほど多くない。

1. kaze

* 提案漢字: 凝乳
* 選定理由: 「凝乳」は固形化した乳、すなわち「カード(curd)」の意味として中国語で通じる(「凝結した乳」)。
* 学習コスト: 2文字。「凝」はやや画数(16画)多めだが、専門語としては標準的。

1. selakt

* 提案漢字: 乳清
* 選定理由: 「乳精」は文脈によっては「クリーム」と誤解されることもあるため、ホエー(whey)の一般的表記「乳清」を採用。
* 学習コスト: 2文字。「乳」は既出。「清」はよく使われるため学習コストも比較的低い。

1. melk

* 提案漢字: 挤奶
* 選定理由: 「乳を搾る」を中国語で表すと「挤奶」が標準的。「挤」は搾り出すニュアンス。
* 学習コスト: 2文字。「挤」(9画)は日常表現でも使われる。「奶」(8画)は「ミルク」で既出の可能性あり(ただし本リストでは「乳」を提案した箇所もあるので、使い回しは要検討)。

1. lakt

* 提案漢字: 乳
* 選定理由: 「乳(ミルク)」を簡潔に表す単字として最適。中国語でも文語・医学用語などで「乳」を使う場合がある。
* 学習コスト: 1文字(5画)とシンプル。日本語の「乳」とほぼ同じイメージ。

1. kaĉ

* 提案漢字: 粥
* 選定理由: 「かゆ(粥)」を中国語で一般的に指す単字。発音は「zhōu」。
* 学習コスト: 1文字(6画)で、意味もはっきりしている。

1. past

* 提案漢字: 糊
* 選定理由: 「ペースト」「練り物」「糊状」のイメージに近い。食用ペーストや塗る糊など広範囲を含むが、一字表記で最も近い語。
* 学習コスト: 1文字(13画)とやや多めだが、調理・糊状物などで汎用的に使える。

1. farun

* 提案漢字: 粉
* 選定理由: 「粉」は粉末全般を指す字だが、小麦粉や穀粉など広義の「フラワー(粉)」として使われる。
* 学習コスト: 1文字(10画)。既存の「糊」「粥」などとも関連して学習しやすいかもしれない。

1. glu

* 提案漢字: 胶
* 選定理由: 「糊」とは区別したい場合、接着剤やゴム系を指す際に中国語で「胶」を用いるのが一般的(「胶水」など)。
* 学習コスト: 1文字(10画)。接着剤関係でよく見かける字。

1. amel

* 提案漢字: 淀粉
* 選定理由: デンプンを最も標準的に表すのが「淀粉」。1文字表記では難しく、専門用語として定着している。
* 学習コスト: 2文字。やや画数は多いが(「淀」11画＋「粉」10画)、化学名としては妥当。なお「粉」は既出だが、「淀」は新出。

1. kup

* 提案漢字: 火罐
* 選定理由: 「吸い玉」に相当する道具を中国語で示す際、「拔罐」「火罐」が一般的(療法名も含む)。ここでは器具として「火罐」を提案。
* 学習コスト: 2文字。「火」(4画)は基礎字。「罐」(缶＋雚で10画)は新出だが、「容器」の意味を持つため汎用可能。

pastel

* + 提案: 糖
  + 理由: 「ドロップ（キャンディ状の菓子・錠剤）」のイメージを、単に「糖(砂糖)」で代表させました。
  + 学習コスト: 「糖」はやや画数は多い(※16画)ですが、日中とも「糖」という字は認知度が高く、意味連想もしやすいです。

1. glazur
   * 提案: 釉
   * 理由: 陶器のうわ薬(釉薬)を表す最も一般的な漢字が「釉」です。
   * 学習コスト: 「釉」は9画程度で少なすぎるわけではありませんが、専門用語としては日中ともに同じ字形で通じます。
2. oblat
   * 提案: 糯米纸
   * 理由: 中国語でオブラート(可食フィルム)は「糯米纸」と呼ばれます。
   * 学習コスト: 3文字で画数もやや多めですが、意味が分かりやすく、実際の使用例も一般的です。
3. kataplasm
   * 提案: 膏药
   * 理由: 「あん法(湿布用の軟膏・貼付剤)」に近い外用薬として、中国語で「膏药(こうやく)」が一般的。
   * 学習コスト: 「膏」や「药(藥の簡体)」は医療関連の他語根でも使い回しやすいです。
4. kompres
   * 提案: 湿敷
   * 理由: 「湿布」に相当する表現として、中国語で「湿敷(湿式の敷き方)」がよく使われます。
   * 学習コスト: 「湿」「敷」とも医療分野では比較的使われる漢字。2文字で済んでおり妥当と考えました。
5. cikut
   * 提案: 毒芹
   * 理由: 毒ゼリ(英: water hemlock)は中国語で「毒芹」と呼ばれます。
   * 学習コスト: 「毒」「芹」とも基本的な部首・偏旁で構成されており、意味も日中で直感しやすいです。
6. kosmopolit
   * 提案: 世界人
   * 理由: 「コスモポリタン(世界市民的な人)」を簡潔に表すなら「世界人」が分かりやすいです。
   * 学習コスト: 「世」「界」「人」はいずれも比較的画数が少なく、他の語根にも応用しやすい常用字です。
7. polip
   * 提案: 息肉
   * 理由: 医学用語としてのポリープに相当する漢語は「息肉」が標準的。
   * 学習コスト: 2文字であり、医療関連ではしばしば使われる表記です。
8. poliglot
   * 提案: 多语
   * 理由: 「多言語話者」を端的に「多语(多言語)」と表しました。
   * 学習コスト: 「多」「语(語の簡体)」はいずれも画数が少なく、学習コストを抑えられます。
9. kali

* 提案: 钾
* 理由: カリウムの中国語表記は「钾」。
* 学習コスト: やや専門用字ですが、化学元素の標準略字として広く使われています。

1. klor

* 提案: 氯
* 理由: 塩素の中国語表記は「氯」。
* 学習コスト: 9画程度で、化学元素として一般的です。

1. kolodi

* 提案: 火棉胶
* 理由: コロジオン(ニトロセルロース系溶液)は中国語で「火棉胶」と呼ばれます。
* 学習コスト: 3文字ですが、それぞれ「火」「棉」「胶」は比較的常用度も高めで、意味連想もしやすいです。

1. sublimat

* 提案: 升汞
* 理由: 昇コウ(水銀(II)塩/腐食性昇汞)を中国語では「升汞」と呼ぶのが古典的かつ通用する表記。
* 学習コスト: 「升」「汞」は画数少なめ(合計11画)で要点が伝わります。

1. kreozot

* 提案: 木馏油
* 理由: クレオソート(特に木タール由来)は中国語で「木馏油」と表すのが一般的。
* 学習コスト: 3文字ながら「木」「油」はよく使う漢字で、中央の「馏」はやや画数が多めですが専門用語としては妥当かと思われます。

1. kristal

* 提案: 水晶
* 理由: 水晶(クリスタル)として最も直感的かつ通用する表記は「水晶」。
* 学習コスト: 2文字で「水」は4画、「晶」は12画。意義も分かりやすいです。

1. aerolit

* 提案: 陨石
* 理由: 隕石の中国語表記は「陨石」が標準。
* 学習コスト: 「陨(7画)」「石(5画)」ともに頻出の偏旁を含み、難しすぎない範囲です。

1. lapis

* 提案: 硝石
* 理由: エスペラント語根「lapis」はここでは[化]硝石(KNO₃)を指すとのことなので、中国語表記「硝石」。
* 学習コスト: 「硝(11画)」「石(5画)」は鉱物関連で再利用されやすい漢字。

1. mineral

* 提案: 矿物
* 理由: 鉱物は中国語で「矿物」。
* 学習コスト: 2文字、「矿(7画)」「物(8画)」ともに日常でも比較的目にする漢字です。

1. spat

* 提案: 长石
* 理由: [鉱]デイ石(spar)の代表格として「長石(feldspar)」をあてるのが通例。中国語では「长石」と表記。
* 学習コスト: 「长(4画)」「石(5画)」で、比較的シンプルです。

1. alabastr

* 提案: 雪花石膏
* 理由: アラバスター(特に石膏系)は中国語で「雪花石膏」と呼ばれます。
* 学習コスト: 4文字とやや長めですが、石膏(膏薬の膏と同字)など、再利用可能な要素も含みます。

1. cinabr

* 提案: 辰砂
* 理由: シン砂(硫化水銀)は中国語で「辰砂」が定訳。朱色の鉱物(辰=十二支の一つ)に由来。
* 学習コスト: 2文字かつ専門用語として広く知られます。

1. bazalt

* 提案: 玄武岩
* 理由: 玄武岩は中国語で「玄武岩」が標準的。
* 学習コスト: 3文字(「玄」5画、「武」8画、「岩」8画)ですが、地学用語として知名度は高いです。

### ****laf/熔岩/「溶岩」に相当する一般的な表記。日本語「溶岩」と近く意味を推測しやすい/「岩」は今後も多用し得る常用字だが「熔」はやや画数多め****

### ****kalk/石灰/「lime」の標準表記。日本語「石灰」と同義/「石」は高頻度字で再利用しやすく、画数も比較的少ない****

### ****glim/云母/「mica」の標準表記。日本語「雲母」と同系/「云」(簡体)と「母」はともに比較的基本的な字****

### ****sukcen/琥珀/「amber」の標準表記。日中ともに「琥珀」で通じる/どちらの字もやや画数多めだが、他に適当な単字がないため標準語を採用****

### ****agat/玛瑙/「agate」の標準表記。日本語「瑪瑙」と同系/「玛」「瑙」はいずれも宝石名によく使われる字で、別の宝石類でも転用可能****

### ****beril/绿柱石/「beryl」の標準表記。日本語「緑柱石」と同系/「绿」「柱」「石」は比較的日中でイメージしやすく、今後「石」は他でも再利用****

### ****pirit/黄铁矿/「pyrite」の標準表記。日本語「黄鉄鉱」と同系/「黄」「铁」「矿」はいずれも鉱物関連で再利用の可能性大****

### ****porfir/斑岩/「porphyry」の標準表記。日中とも「斑岩」/「斑」はやや画数が多めだが「岩」再利用の恩恵を優先****

### ****malakit/孔雀石/「malachite」の標準表記。日本語「孔雀石」と同系/「孔」「雀」「石」は比較的覚えやすく、とくに「石」は使い回し可能****

### ****kvarc/石英/「quartz」の標準表記。日中ともに一般的/「石」は既出、「英」は常用字で画数も少なめ****

### ****silik/燧石/「flint」の標準地質名。中国語では「燧石」が通称/「燧」は画数が多いが、地質用語としては標準。必要なら「打火石」も一案****

### ****granit/花岗岩/「granite」の標準表記。日本語「花崗岩」と同系/「花」「岗」「岩」すべて汎用性がそこそこあり、「岩」は重複利用****

### ****marmor/大理石/「marble」の標準表記。日本語「大理石」と同系/「大」「理」「石」はいずれも高頻度字で再利用しやすい****

### ****konglomerat/砾岩/「conglomerate(レキ岩)」の標準地質名/「砾」(「礫」の簡体)「岩」ともに地質分野で再利用の見込み****

### ****stalagmit/石笋/「stalagmite」の標準表記。上向きの石灰華/「石」は既出、「笋」は画数そこそこだが比較的認知されやすい****

### ****stalaktit/钟乳石/「stalactite」の標準表記。下向きの鍾乳/「钟」「乳」「石」は日中ともに認知度が高めで、意味推測も容易****

### ****ardez/板岩/「slate」の標準表記。日中で「板岩」もしくは「粘板岩」と呼ぶ/「板」は常用字、「岩」は既出。比較的画数が少ない****

### ****talk/滑石/「talc」の標準表記。日中ともに「滑石」/「滑」は少し画数多めだが「石」は既出で学習負担を抑制****

### ****porcelan/瓷器/「porcelain」の代表的表記。日本語「磁器」に相当/「瓷」「器」はやや画数多めだが陶磁関連で再利用可能****

### ****fajenc/陶土/「faience, earthenware」のイメージに近い/「陶」は陶磁器全般に転用しやすく、「土」も頻出字****

### ****ceramik/陶瓷/「ceramic」の標準表記。日本語「陶磁」と同系/「陶」「瓷」は既出文字との組合せで、学習コストを下げられる****

### ****plast/塑料/「plastic」の標準表記。日常的にも使われる/「塑」「料」はやや画数多めだが最も一般的な表現****

ken

* + 提案漢字(熟語): 胶木
  + 選定理由: 「樹脂(=胶) + 木材(=木)」というイメージが分かりやすいため。
  + 学習コスト: 「胶」は後述のゴム・樹脂系と共通化し、「木」は画数が少なく頻出なので負担は比較的低い。

1. rezin
   * 提案漢字: 胶
   * 選定理由: 中国語で樹脂を指す「树脂」から「胶」の要素(粘着質)を抽出し、ゴム・接着・樹脂などを一括で表す漢字として活用。
   * 学習コスト: 「胶」一字に集約しておくことで、他の粘性物質系(ゴムなど)との使い回しが可能。
2. kaŭĉuk
   * 提案漢字: 胶
   * 選定理由: ゴム(橡胶)の「胶」を単独使用。
   * 学習コスト: 上述の樹脂・ゴム系語根をすべて「胶」で統合できるため、漢字の重複使用を最大化できる。
3. gum
   * 提案漢字: 胶
   * 選定理由: gum(ゴム,ガム,粘着質)を表すのに「胶」が適切。
   * 学習コスト: 同上。ゴム系・粘着系の統合。
4. ruin
   * 提案漢字(熟語): 废墟
   * 選定理由: 「廃墟」の簡体字表記。日本語の「廃墟」に近く、中国語でも通じる標準的表現。
   * 学習コスト: やや画数は多いが、直感的理解度は高い。もし画数を優先するなら「废」単独も可(意味は「廃する」「捨てる」に広がる)。
5. rub
   * 提案漢字(熟語): 碎石
   * 選定理由: 「砕けた石片」という意味合いで「碎石」は「瓦礫」「がれき」に比較的近い。
   * 学習コスト: 「石」は後述の石膏などでも使用(重複利用)。新出は「碎」のみ。
6. kot
   * 提案漢字: 泥
   * 選定理由: 泥(泥土,ぬかるみ)を直接表す。中国語・日本語とも直感的に“どろ”を連想しやすい。
   * 学習コスト: 1文字・8画で済む。
7. ŝlim
   * 提案漢字: 泥
   * 選定理由: 「泥」「泥状」などの範囲で同義的に扱える。必要なら上付き等で区別。
   * 学習コスト: 「kot」と同じく「泥」を流用できるため学習負担を増やさない。
8. argil
   * 提案漢字(熟語): 黏土
   * 選定理由: 粘土を意味する標準的な簡体字。日本語での「粘土」に対応。
   * 学習コスト: やや画数はあるが、1文字「泥」だと「土一般」との区別が付きにくいため、正確さ優先で「黏土」を採用。
9. sabl

* 提案漢字: 沙
* 選定理由: 砂を表す簡体字。日本語では「砂」表記だが、簡体字の「沙」も比較的直感は伝わる。
* 学習コスト: 7画で比較的少なめ。

1. gruz

* 提案漢字(熟語): 沙石
* 選定理由: 「砂 + 石」で砂利、砂と小石の混在、いわゆるグラベルをイメージしやすい。
* 学習コスト: 「沙」は既出(=sabl)・「石」は既出(=rub など)のため学習負担を最小限に抑えられる。

1. polv

* 提案漢字: 尘
* 選定理由: ほこり・ちりを意味する簡体字「尘」(日本語の「塵(ちり)」に相当)。
* 学習コスト: 6画と比較的少なく、「灰」(ash)とは区別しておくほうが分かりやすい。

1. makul

* 提案漢字: 污
* 選定理由: 汚れ・しみ(汚点)を示す簡体字。「污点」でも良いが1文字に圧縮。
* 学習コスト: 7画。単独で「汚れ」「汚す」を連想しやすい。

1. cindr

* 提案漢字: 灰
* 選定理由: 灰・灰分を示す漢字(日本語の「灰」と同形)。
* 学習コスト: 6画。ほこり(尘)や粉末(粉)とは使い分け可能。

1. feĉ

* 提案漢字: 渣
* 選定理由: 沈殿物・かす・糟粕などを示す際によく使われる「渣」。
* 学習コスト: 12画だが1文字で「かす/おり/残渣」を表せる。

1. rust

* 提案漢字: 锈
* 選定理由: 「錆(さび)」の簡体字。
* 学習コスト: 9画(部首の金偏 + 秀の簡体)。日本語の「錆」とも近い形なので連想もしやすい。

1. boraks

* 提案漢字(熟語): 硼砂
* 選定理由: ボーラックス(ホウ砂)の中国語表記。「硼砂」は化学分野で標準的に使われる。
* 学習コスト: 新規漢字「硼」は少しマイナーだが、化学物質ゆえ妥当。

1. hum

* 提案漢字(熟語): 腐植土
* 選定理由: 日本語でいう「腐植土」と同義。中国語では「腐殖质」「腐植土」など、いずれもやや画数は多め。
* 学習コスト: 農学用語なので多少複雑だが、実際の用語としては自然。

1. pavim

* 提案漢字(熟語): 铺石
* 選定理由: 鋪装材(鋪石・舗石など)をイメージできる簡体字「铺」＋「石」。
* 学習コスト: 「铺」は「鋪/舗」の簡体字で、画数は8。「石」は既出なので組み合わせとしてはそこまで負担増にならない。

1. bitum

* 提案漢字(熟語): 沥青
* 選定理由: 瀝青(ビチューメン)の簡体字表現で、アスファルトの意にも近い。
* 学習コスト: 「沥」はやや珍しいが、asfalt(21番)と同じ熟語を使い回すことで学習負担を削減。

1. asfalt

* 提案漢字(熟語): 沥青
* 選定理由: 中国語でアスファルトを指す一般的表記をそのまま流用。bitum(20番)と同一化。
* 学習コスト: 既に「bitum」で使用しているため重複利用可。

1. gips

* 提案漢字(熟語): 石膏
* 選定理由: 石膏(gypsum)を表すごく一般的な熟語。「石」+「膏」。
* 学習コスト: 「石」は既出。「膏」は新出だが、中国語・日本語両方で「膏薬」「膏状」などから連想可能。

kambi

* + 提案漢字: 汇票
  + 選定理由: 中国語において “bill of exchange(為替手形)” は「汇票」と表現するのが標準的。「汇」(匯)は「為替」「送金」の意を含み、「票」は「券」「証書」などのニュアンスを持つ。
  + 学習コストに関する考察: 「汇」「票」はともに比較的よく使われる常用字で、日本語話者にも「票」は「切符」「投票」などのイメージがあり連想しやすい。画数はやや多めだが、今後「票」を他の語根でも転用予定なので学習効率を高めやすい。

1. pamflet
   * 提案漢字: 小册
   * 選定理由: 「(小さめの)冊子」を表す「小册子」が中国語では一般的だが、ここでは2文字に圧縮して「小册」とした。実際に口語や略称でも「小册」と言うことがある。
   * 学習コストに関する考察: 「小」は画数が少なく頻度も高い漢字。「册」は「書籍の冊数」などで用いられ、比較的認識しやすい。2文字構成なので、まだ学習コストは許容範囲と考えられる。
2. bilet
   * 提案漢字: 票
   * 選定理由: 中国語で「切符」「チケット」は「票」で表すことが多い。
   * 学習コストに関する考察: 既に kambi で用いた「票」と同じ文字を使い回す形。重複活用により学習すべき新規漢字の総数を抑えられる。
3. kupon
   * 提案漢字: 券
   * 選定理由: クーポン券や引換券などを指す場合、中国語では「优惠券」「礼券」など「券」を使うケースが多い。
   * 学習コストに関する考察: 「券」も比較的よく見かける常用字で、「票」と並び「券・票」の二文字で多くの “券・証書系” 語彙をカバーできる。
4. kart
   * 提案漢字: 卡
   * 選定理由: 「カード」は中国語で「卡」(音は「kǎ」)が広く定着しており、クレジットカードは「信用卡」、SIMカードは「SIM卡」などと表す。
   * 学習コストに関する考察: 画数が少なく(4～5画)非常に頻度が高い外来要素の漢字。日本語でも「カード＝カード(カ)」の音のイメージで覚えやすい。
5. slip
   * 提案漢字: 纸条
   * 選定理由: メモ用の小さな紙片は、中国語で「纸条」(紙の細長い切れ端、メモ紙)とよく呼ばれる。
   * 学習コストに関する考察: 「纸」は「紙」の簡体字、「条」は「条文」「条約」などにも使われる比較的汎用度の高い字。両方とも画数は中程度だが、単語としてわかりやすい。
6. afrank
   * 提案漢字: 贴
   * 選定理由: 「(切手を)貼る」「(郵便物に)貼り付けて郵便料金前納する」イメージとして、中国語では「贴邮票」(切手を貼る)が自然。
     + 1文字で端的に動作「貼る」行為を表すなら「贴」を採用。
   * 学習コストに関する考察: 「贴」は「貼」の簡体字。そこまで画数は多くなく、動詞として汎用的にも使いやすい。
7. atut
   * 提案漢字: 王牌
   * 選定理由: 「王牌」は「トランプの切り札(エース)」や「非常に強力な手段」を意味するのに中国語で最も一般的。
   * 学習コストに関する考察: 「王」は最も基本的な漢字の一つ、「牌」も「個牌」「招牌」などで使われる常用字。2文字だが、どちらも比較的頻度が高い。
8. kopi (動詞:「を複写する」)
   * 提案漢字: 复制
   * 選定理由: 中国語で「コピーする」「複製する」は「复制」が標準的。動詞としての用例も非常に多い。
   * 学習コストに関する考察: 「复」は「復」の簡体字で、「制」は「制度」「製作」などにも使われる有用漢字。2文字だが汎用度は高い。
9. kopi## (名詞:「複写」「コピー」)

* 提案漢字: 复制
* 選定理由: 上記と同じ「复制」を名詞としても転用可能(文脈で区別)。たとえば「一份复制」(一部のコピー)のような用例がある。
* 学習コストに関する考察: #9 と同じ形をそのまま利用し、上付き文字や振り仮名などで区別予定。新規漢字は増えない。

1. litograf (動詞:「石版印刷する」)

* 提案漢字: 石印
* 選定理由: 本来は「石版印刷」と4文字になるが、古くは「石印」も通用していた。石版(litho=stone)で印刷するイメージ。
* 学習コストに関する考察: 「石」はごく基本、「印」はすでに #9 や #14 でも関連する「印刷」と合わせて再利用しやすい。

1. litografi (名詞:「石版印刷術」)

* 提案漢字: 石印术
* 選定理由: 上記「石印」に技術(術)を示す「术」を付加。簡略形だが「平版印刷术」「石版印刷术」をさらに縮めた形。
* 学習コストに関する考察: 新規導入文字は「术」のみ。一般語としても「藝術(艺术)」「技術(技术)」などで頻出する。

1. tipograf (活版印刷技術者)

* 提案漢字: 排版工
* 選定理由: 「排版」は文字を組む(組版・レイアウト)動作にあたり、それを職業とする人は「排版工」(職工)というイメージ。
* 学習コストに関する考察: 「排」「版」「工」はいずれも比較的常用字。「版」は印刷関連で繰り返し出現予定なので再利用価値大。

1. pres (動詞:「印刷する」)

* 提案漢字: 印刷
* 選定理由: 「印刷」はまさに “to print” の標準表現。
* 学習コストに関する考察: 「印」は #11 ですでに使用しており、「刷」は比較的画数はあるが常用度が高い。印刷関連で一貫性をもたせる。

1. tipografi (活版印刷 = 活版印刷技法そのもの)

* 提案漢字: 活版印刷
* 選定理由: 中国語で「活版印刷」はそのまま「活版印刷」。最も通じやすい標準表記。
* 学習コストに関する考察: 「活」は新規だが、印刷関連として「版」「印」「刷」はすでに出ているため、1文字追加で済む。

1. kliŝ (動詞:「ステロ版にとる, stereotype」)

* 提案漢字: 制版
* 選定理由: 元々「ステレオ版を作る」は文字や図版を“型にして金属板などで複製する”作業であり、中国語では「制版」(版を作る)が広義に当たる。
* 学習コストに関する考察: 「制」はすでに #9(复制) で登場済み。「版」も再利用文字のため、新規なしで表現可能。

1. parentez ([印]かっこ)

* 提案漢字: 括号
* 選定理由: 中国語で丸括弧、角括弧など総称して「括号」が用いられる。
* 学習コストに関する考察: 「括」は「包括」「括弧」などで比較的使用頻度あり。「号」は「番号」「信号」などで汎用度が高い。

1. kursiv ([印]イタリック)

* 提案漢字: 斜体
* 選定理由: 「斜体」はイタリック体の正式名称。
* 学習コストに関する考察: 「斜」はやや画数多め(11画)だが、中国語でイタリックを指すには「斜体」が最も一般的。

1. paraf (書き判、サインに付す装飾)

* 提案漢字: 签
* 選定理由: 中国語では「署名(签名)」「サイン(签字)」を行う動作を「签」と略すことがあり、ここでは“署名時の書き判”に近い意味合いとして採用。
* 学習コストに関する考察: 「签」は「签名」「标签(ラベル)」などにも使え、比較的応用範囲がある。

1. format ([印]判(サイズ))

* 提案漢字: 开本
* 選定理由: 中国語で本や雑誌などの「判型(開き方・サイズ)」を指す場合、「开本」が代表的。
* 学習コストに関する考察: 「开」は画数少なめ(4画)かつ日常使用頻度高い。「本」も基礎漢字。2文字で簡潔に通じる。

1. rubrik ([印]見出し)

* 提案漢字: 标题
* 選定理由: 中国語で「見出し」「タイトル」を表す最も一般的な語が「标题」。
* 学習コストに関する考察: 「标」は「表示」「标记」「标签」などで汎用度が高い。「题」も「问题」「题目」などで頻繁に登場する。

1. aline ([印]改行字下げ, 段落の頭下げ)

* 提案漢字: 缩进
* 選定理由: 「行頭を下げる」「インデントを入れる」は中国語で「缩进」と呼ぶのが標準的。
* 学習コストに関する考察: 「缩」はやや画数が多め(部首「纟」+「宿」系)だが、IT関連含め「縮小」(缩小)などで使用頻度高い。「进」は基本語「前进」「进来」などにも使用。

sardel ****/ 沙丁鱼 /****

* + 選定理由: 「沙丁鱼」は「イワシ(サーディン)」の中国語表記として非常に一般的。塩漬けの小型青魚全般を連想しやすい。
  + 学習コスト: 「沙(7画)」「丁(2画)」「鱼(8画)」はいずれも比較的初級レベルで、日本語話者にとっても「砂・丁・魚」とイメージしやすい。

1. anĉov / 鳀鱼 /
   * 選定理由: アンチョビを中国語で表すとき「鳀鱼(tí yú)」「凤尾鱼」などがあるが、より辞書的・正統的なのは「鳀鱼」。
   * 学習コスト: 「鳀」はややマイナーだが、魚へん＋「台」に近い字形。「魚へん」系列なので他の魚とも関連付けやすい。
2. sevrug / 鲟 /
3. sturg / 鲟 /
4. sterled / 鲟 /
5. huz / 鲟 /
   * 選定理由: いずれもチョウザメ(sturgeon)の仲間なので、中国語の総称「鲟(xún)」一文字で統一。個々の細かい品種名(星鲟, 史氏鲟など)を区別したい場合は、後から上付き文字などで補足可能。
   * 学習コスト: 「鱼(8画)」へん＋「勋」の変形。やや画数は多めだが、全てまとめて「鲟」にすることで総数を減らし、学習負担を抑える。
6. lojt / 江鳕 /
   * 選定理由: ロシア語由来の「カワメンタイ(burbot)」は中国語で「江鳕(こう-せつ)」などと呼ばれることがある（＝淡水産のタラに似た魚という扱い）。
   * 学習コスト: 「江(6画)」「鳕(19画前後)」でやや画数は多いが、「鳕」はタラ類全般を表す字として流用可能。
7. kankr / 小龙虾 /
   * 選定理由: 「ザリガニ」を中国大陸では「小龙虾(xiǎo lóngxiā)」と呼ぶのが一般的。
   * 学習コスト: 「小」「龙」「虾」は頻出かつ画数も比較的少なめ。のちに「龙虾」を使う語根もあるので、共通の字を流用。
8. palinur / 龙虾 /
   * 選定理由: 「イセエビ」や「ロブスター」など、大型のハサミなし甲殻類（スパイニー・ロブスター）を中国語で総称的に「龙虾(lóngxiā)」と呼ぶ場合が多い。
   * 学習コスト: 8番「小龙虾」から「龙虾」の部分を流用できる。
9. rosmar / 海象 /
   * 選定理由: 「セイウチ」は中国語で「海象(hǎixiàng)」。文字どおり「海の象」と書くので、日本語話者にも連想しやすい。
   * 学習コスト: 「海(9画)」「象(11画)」はいずれも汎用度が高い。
10. raj / 鳐 /
    * 選定理由: 「エイ」は中国語で「鳐(yáo)」や「鳐鱼」が一般的。ここでは一文字である「鳐」を採用。
    * 学習コスト: 魚へん＋尭(たかし)の形。やや画数は多めだが、魚の一種だと一目でわかる。
11. nas / 鱼笼 /
    * 選定理由: 「(魚をとる)やな・かご」等の仕掛けは中国語で「鱼笼(yúlóng)」とも。文字通り「魚＋かご」。
    * 学習コスト: 「鱼」は既出。「笼(かご)」は竹かんむり＋竜の変形で、やや画数多めだが「かご」として割と連想しやすい。
12. iĥtiokol / 鱼胶 /
13. iktiokol / 鱼胶 /
    * 選定理由: いずれも「魚膠(にべ)」の意。中国語では「鱼胶(yújiāo)」が最も直接的かつ簡潔。
    * 学習コスト: 「鱼」は既出、「胶」は「にかわ」の意味。汎用性は高め(接着剤、ゴム系の語でも使う)。
14. kil / 龙骨 /
    * 選定理由: 船の「竜骨(keel)」を中国語ではそのまま「龙骨(lónggǔ)」。ただし中医学では動物の骨「龍骨」を指す場合もあるが、字面から「骨組み」のイメージが伝わりやすい。
    * 学習コスト: 「龙」と「骨」は既出・再利用がしやすい字。
15. konk / 贝 /
    * 選定理由: 「貝殻」は簡体字で「贝(bèi)」。非常に画数が少なく、「貝」＝シェル(殻)と日本人にもわかりやすい。
    * 学習コスト: 4画と少なく、貨幣・財貨の部首としても多用される。
16. ostr / 牡蛎 /
    * 選定理由: 「カキ(牡蠣)」の簡体字は「牡蛎(mǔlì)」。一文字「蚝(háo)」もあるが、日本語話者には「牡蠣」に近い「牡蛎」の方がまだ連想しやすい。
    * 学習コスト: やや画数は多いが、貝編系統なので「貝」の一種だと理解しやすい。
17. perk / 鲈鱼 /
    * 選定理由: 「ペルカ(欧州系のパーチ/バス)」は中国語で「鲈鱼(lúyú)」と訳されることが多い。実際にはシーバス(スズキ)も含むが、概ね「パーチ・バス系」と捉えられる。
    * 学習コスト: 「鱼」は既出。「鲈」は魚へん＋「卢」の形で、魚だとわかりやすい。
18. perĉ / 鲈鱼 /
    * 選定理由: 「アセリナ(ruff)」も同じく淡水パーチの一種なので、「鲈鱼」でまとめて差し支えない。
    * 学習コスト: 18番と同じ表記に統合し、漢字の種類を増やさない。
19. ezok / 狗鱼 /
    * 選定理由: 「カワカマス(pike)」は中国語で一般に「狗鱼(gǒuyú)」。文字通り「犬＋魚」で、形や生態を犬にたとえた由来。
    * 学習コスト: 「狗(犬)」「鱼(魚)」とも頻出字。
20. sole / 比目鱼 /
    * 選定理由: 「シタビラメ(sole)」やカレイ・ヒラメ類の平たい魚は、中国語で総称的に「比目鱼(bǐmùyú)」と呼ぶ場合が多い（“左右どちらか片面に目がある魚”）。
    * 学習コスト: 「比(4画)」「目(5画)」「鱼(8画)」でいずれも基本的な字。
21. salm / 三文鱼 /
    * 選定理由: 「サケ(salmon)」は現代中国で日常的に「三文鱼(sānwényú)」と表記するのが非常に一般的。日本語話者にも「サーモン(三文)」と連想しやすい。
    * 学習コスト: 「三」「文」「鱼」はすべて基本的な漢字。

ŝark ****/**** 鲨 ****/  
　・「サメ」を表す標準的な簡体字は「鲨(鱼)」。日本語話者も「魚＋少」の形から魚類だと連想しやすい。  
　・すでに魚偏(「鱼」)を多用する方針なので採用しやすい。****

1. fiŝ / 鱼 /  
   　・「魚」一般を示す最も基本的な簡体字。  
   　・画数が少なく、日本人にも「魚」を連想しやすい。
2. trut / 鳟 /  
   　・「マス(trout)」の簡体字としては「鳟(鱼)」が用いられる。  
   　・魚偏＋「存」の組み合わせで、新たな漢字だが専門魚名としては定番。
3. pleŭronekt / 鲆 /  
   　・「ヒラメ(flatfish)」の簡体字としては「鲆」が使われることが多い。  
   　・魚偏＋「平」の形。文字自体の画数はやや多めだが、他の「魚」関連漢字と一貫性あり。
4. gobi / 鮈 /  
   　・「カマツカ(gudgeon)」に相当する漢字としては、文献上「鮈(鱼)」が使われる場合がある。  
   　・ただし「鮈」はあまり頻度が高くなく、学習コストは高め。無理に1文字を使うより「鮈鱼」や「未対応」も検討余地あり。
5. angil / 鳗 /  
   　・「ウナギ(eel)」の簡体字は「鳗(鱼)」。  
   　・魚偏＋「曼」で画数は多めだが、うなぎ全般を指す代表的な字。
6. petromiz / 七鳃鳗 /  
   　・「ヤツメウナギ(lamprey)」の中国語名は「七鳃鳗」(qī sāi màn)が一般的。  
   　・単一漢字が存在しないため熟語表記。「鳗」はすでに出現済みだが、「七」「鳃」は新規導入。
7. haring / 鲱 /  
   　・「ニシン(herring)」は「鲱(鱼)」。  
   　・魚偏＋「非」。日本語話者も“魚偏+非”で「ニシン」を少しは連想しやすいかもしれない。
8. silur / 鲶 /  
   　・「ナマズ(catfish)」は簡体字で「鲶」。  
   　・魚偏＋「念」。やや画数は増えるが、中国で一般的な表記。
9. gad / 鳕 /  
   　・「タラ(cod)」は「鳕(鱼)」で表すのが通常。  
   　・魚偏＋「雪」。専門魚名だが日本語「鱈」と近く、連想しやすい。
10. moru / 鳕 /  
    　・こちらも「タラ(cod)」。同義ゆえ先の「gad」と同じ漢字を割り当て。  
    　・同一漢字の重複使用は学習コスト削減につながる。
11. karas / 鲫 /  
    　・「フナ(crucian carp)」は簡体字で「鲫(鱼)」。  
    　・魚偏＋「即」。日本語の「鯽(フナ)」に相当するが、簡体表記は「鲫」。
12. karp / 鲤 /  
    　・「鯉(carp)」は簡体字で「鲤(鱼)」。  
    　・魚偏＋「里」で画数そこそこ。だが日中ともに馴染みの深い魚。
13. krab / 蟹 /  
    　・「カニ(crab)」に相当する単字は「蟹」。  
    　・「螃蟹」と2字で書くこともあるが、単字「蟹」で十分通じる。
14. tink / 未対応 /  
    　・「テンチ(tench)」に対応する一般的な簡体字がほぼ存在しない(または極めてマイナー)。  
    　・無理に造字・当て字するより、学習コストを下げるため「未対応」のままが望ましい可能性あり。
15. plot / 未対応 /  
    　・「ウグイ(roach)」もヨーロッパ原産のroaches等と混同があり、中国での一般的単字はほぼ存在しない。  
    　・専門書には当て字があるかもしれないが汎用性が低いため、ここでは「未対応」とする。
16. merlang / 未対応 /  
    　・「メルラン(whiting)」もヨーロッパ系の白身魚で、中国では特定の常用単字を見かけない。  
    　・強引に当て字を作るより「未対応」とした方が学習コストを抑えられる。
17. mari / 玛丽 /  
    　・人名「マリア(Mary)」の中国語表記として最も一般的な音訳。「玛丽」。  
    　・2文字だがいずれもよく使われる表音漢字であり、認知度は高い。
18. emili / 艾米莉亚 /  
    　・「エミリア(Emilia)」を中国語で音訳すると「艾米莉亚」が一般的。  
    　・やや文字数が多いが、女性名の慣用表記として定着している。
19. lir / 里拉 /  
    　・「リラ(lira, lyre)」の音訳・外来語表記として「里拉」が使われることがある(通貨名など)。  
    　・「里」は「鲤」(魚偏＋里)と部品がかぶるが、独立した単字としても常用されるので汎用性は高い。
20. ari / 咏叹调 /  
    　・「アリア(aria)」は中国語で「咏叹调(yǒng tàn diào)」と訳される(オペラなどの用語)。  
    　・音訳「阿丽雅」等も可能だが、音楽用語としては「咏叹调」が定着している。
21. dali / 大丽花 /  
    　・「ダリア(dahlia)」は中国語で「大丽花(dà lì huā)」。  
    　・「丽」はすでに「玛丽」などで登場済み。「大」「花」は基本的な常用字なので認知しやすい。

malari

* + 疟疾
  + 中国語で「マラリア」を指す標準的な表現。
  + 「疟(病)」と「疾」はいずれも“病気”を示す部首（疒）を含み、日本語圏でも「疾」の形から「病気系の漢字」と推測可能。

1. ĥimer
   * 奇美拉
   * 神話上の合成獣「キメラ」を指す最も一般的な中国語音訳。
   * 「奇」「美」「拉」はいずれも比較的よく使われる字で、日本語の「キメラ」とも発音が近く連想しやすい。
2. kimer
   * 奇美拉
   * 上記「ĥimer」と同じ語源・意味を持つため同じ表記を割り当て。
   * 既出の「奇」「美」「拉」を再利用することで学習コストを抑えられる。
3. kalomel
   * 甘汞
   * Calomel（甘汞）を指す伝統的・化学的に定着した呼称。
   * 「甘」（あまい）+「汞」（水銀）という組み合わせで画数も比較的少なく、専門用語ながら字面から“水銀系の化合物”と想起しやすい。
4. karamel
   * 焦糖
   * 「キャラメル」の定訳。
   * 「焦」（こげる）+「糖」（さとう）という分かりやすい組み合わせで、日本語・中国語双方にとってイメージしやすい。
5. kamlot
   * 卡姆洛特
   * 織物「カムレット（camlet）」の中国語音訳。
   * 「卡」「姆」「洛」「特」は外来語の表記で頻出する字が多く、他の外来語割当にも転用しやすい。
6. kame
   * 浮雕
   * カメオ（浮き彫りの装飾）を指す際の中国語で一般的な表現。
   * 「浮」（浮かぶ）+「雕」（ほる）は、どちらも日本語圏からも推測しやすく、今後「雕」は彫刻関連語でも再利用が見込める。
7. goril
   * 大猩猩
   * ゴリラを意味する最もポピュラーな中国語表記。
   * やや画数は多いが、「猩」の形は日本語の「猩々（しょうじょう）」などにも通じ、連想しやすい。
8. kreol
   * 克里奥尔
   * クレオール（Creole）の中国語音訳。
   * 「克」「里」「奥」「尔」は外来語や人名などで再三登場する組み合わせで、学習コストを分散しやすい。
9. kvadril

* 四对方舞
* カドリール（四組で踊るダンス）の中国語訳。「四対方舞」と表記されることも多い。
* 「四」「对」「方」「舞」はいずれも頻繁に使われる漢字で、総合的な学習負担を抑えられる。

1. balen

* 鲸
* クジラを意味する簡体字。
* 繁体字「鯨」と非常に近い形であり、日本語話者にもクジラを指す字と推測しやすい。

1. kanari

* 金丝雀
* カナリヤ（カナリア）の一般的な中国語表現。
* 「金」（きん）+「丝」（糸の簡体字）+「雀」（すずめ）という分かりやすい組合せで、日本語圏からも“金糸雀”の熟字として連想可能。

1. kaviar

* 鱼子酱
* キャビアを意味する代表的な中国語。直訳で「魚の卵のペースト」。
* 「鱼」（魚）「子」（こ）「酱」（ソース）は料理関連用語としても比較的汎用性が高い。

1. kalikot

* 印花布
* キャラコ（calico）の中国語でよく使われる呼称（「プリント布」の意味に近い）。
* 「印」（いん）「花」（はな）「布」（ぬの）はいずれも日常的な漢字で、別の布地や印刷関連語にも使い回し可能。

1. lekant

* 雏菊
* マーガレットを含むキク科の花（デイジー類）を指す中国語の一種。
* 「雏」（雛の簡体字）+「菊」は合わせて“雛菊”＝デイジーの総称となり、日本語話者にも連想しやすい。

1. perl

* 珍珠
* 真珠を意味する標準的な中国語。
* 「珍」（めずらしい）「珠」（たま）は宝石や装飾品関連に頻出するため汎用性が高い。

1. perlamot

* 珍珠母
* 真珠層（マザー・オブ・パール）の中国語表記。
* 既出の「珍」「珠」に「母」を加えたのみで、いずれもよく見かける字なので学習負担をあまり増やさない。

1. statu

* 雕像
* 立像・彫像を意味する最も一般的な中国語。
* 先に出た「浮雕（浮き彫り）」と同じ「雕」を再利用でき、「像」は今後「偶像」など人形関連でも活用しやすい。

1. idol

* 偶像
* 偶像（アイドル）を指す標準的な表現。
* 既出の「像」を再利用し、「偶」は「木偶」「玩偶」など人形関連で転用可能。

1. pup

* 玩偶
* 人形・パペット全般を指す場合に広く使われる表現。
* 「玩」（玩具の“玩”）+「偶」はどちらも常用漢字であり、人形や偶像など関連用語との親和性が高い。

1. marionet

* 提线木偶
* マリオネット（糸あやつり人形）を指す正確な中国語表記。
* 「提」（引く）「线」（糸）「木」（木材）「偶」（人形）で構成され、どれも比較的よく使われる偏旁を含む。

1. zibel

* 貂
* 黒テン（サーブル、テン類）を指す漢字。
* 単一漢字で済み、画数（10画）も極端には多くないため学習コストを抑えられる。

skorpi / 蝎 / サソリを表す標準的な1文字 / 「虫」偏を含むが、中国語でも日本語でも“サソリ”を示す常用字で認識しやすい。学習コストはやや高めだが、他に簡易表記が少ないため割当

1. ĝiraf / 长颈鹿 / 中国語で最も一般的なキリンの呼称 / 3文字だがいずれも頻出字で意味も分かりやすく、日本語話者にも“長い首の鹿”という連想で理解しやすい。学習コストは増えるが、標準的で妥当
2. limak / 蛞蝓 / ナメクジを表す標準的な2文字 / いずれも「虫」偏を含むが、単独1文字では表せないため中国語での正式名を優先。やや画数が多いため学習コストは高め
3. sepi / 乌贼 / イカ(コウイカ)の一種を指す常用の2文字 / 「乌(烏)」は画数少なめで、「贼(賊)」も比較的常用。全体としては比較的わかりやすく、他に比べれば画数を抑えられる組み合わせ
4. skvam / 鳞 / 魚のうろこ・鱗を意味する単字 / 「鱼鳞」という2字もあるが、ここでは1文字で“鱗”を示す「鳞」を採用。画数は多めだが直接的に“うろこ”を表す標準字
5. delfen / 海豚 / イルカを表す中国語の標準的な2文字 / 「海」(sea)＋「豚」(pig)で、音・表記とも広く知られる。画数は合計で多くないため比較的学習しやすい
6. leon / 狮 / ライオンを表す常用字 / 「狮子」と2文字にする場合も多いが、1文字「狮」でも十分に通じる。画数は9画ほどで比較的学習コストは低め
7. elefant / 象 / ゾウを表す1文字 / 中国語・日本語いずれでも馴染み深い表記で、学習コストを抑えやすい
8. kastor / 河狸 / ビーバーの標準的呼称 / 「河」(river)＋「狸」は分かりやすく、やや画数はあるが常用字の組み合わせ。単独1文字は存在しないため2文字表記を採用
9. azen / 驴 / ロバを表す1文字 / 簡体字では「驴」、画数7画ほどで比較的コンパクト。意味もはっきりしており学習しやすい
10. mul / 骡 / ラバを表す1文字 / 簡体字の標準表記。やや画数は多いが、1文字で意味を示せるメリットが大きい
11. boa / 蟒 / ボア・ニシキヘビ類を表す単字 / 「蟒蛇」と2文字でもよいが、ここでは「蟒」単独で“大型のヘビ”として通用。虫偏を含むが認知度は高い
12. pavian / 狒狒 / ヒヒを表す常用の2文字 / 「狒」1文字では通じにくいが、重ねて「狒狒」とするのが一般的。両方同じ字なので学習コストは実質1文字分に近い
13. kobaj / 豚鼠 / モルモットを表す2文字 / 中国語では「荷兰猪」などもあるが、「豚鼠」の方が字数が少なく“豚(ぶた)＋鼠(ねずみ)”という構成で分かりやすい。すでに「豚」は海豚などで使用済み
14. marmot / 土拨鼠 / マーモットやウッドチャック類を示す通称 / 「旱獭」もあるが、こちらの方が比較的耳馴染みがあり、かつ「鼠」を再利用できる。合計画数は多め
15. dog / 獒 / マスチフを表す1文字 / 中国語で大型猛犬を示す「獒」は標準的。やや画数が多いが「狗」と区別したい場合はこちらが適切
16. vipur / 蝮 / クサリヘビ(マムシ)を表す1文字 / 「蝮蛇」と2文字にすることも多いが、代表的な毒ヘビとして「蝮」単独でも通用。虫偏系はやや多画数ながら標準
17. mustel / 鼬 / イタチを表す1文字 / 一般には「黄鼠狼」とも言うが3文字・画数多めのため、単字で“イタチ”を指す「鼬」が望ましい。学習コストやや高めながらシンプル化を優先
18. meduz / 水母 / クラゲを表す中国語の代表的呼称 / 「海蜇」もあるが2文字合計画数がやや多いため、「水母」を優先。意味の連想もしやすい
19. mitul / 贻贝 / ムール貝(イガイ)など“mussel”を示す標準的2文字 / 「青口」と呼ぶ地域もあるが、正式名称としてはこちらが一般的。やや画数はあるが頻出偏旁「贝」を含み再利用性は高い
20. omar / 龙虾 / ロブスターを表す標準的2文字 / 「龙」(竜)＋「虾」(エビ)の組合せで、日本語話者にとっても連想しやすい。画数は合計13程度で妥当
21. histrik / 豪猪 / ヤマアラシを表す2文字 / 「箭猪」という別称もあるが、「豪猪」の方が使用頻度が高い。やや画数はあるものの常用字であり、覚えやすい組合せ
22. teni
    * 提案: 绦虫
    * 理由: 「サナダムシ (tapeworm)」の標準的な中国語名は「绦虫(繁体: 絛蟲)」。日本語の「条虫」に相当する表現として、中国語では「绦虫」が主流です。
    * 学習コスト:
      + 「虫」は他の多くの語根(虫系動物)にも転用可能で汎用性が高い。
      + 「绦」はやや画数が多め(約10画)ですが、tapewormの代表的呼び名であり、中国語圏での通用度も高い。
23. lumbrik
    * 提案: 蚯蚓
    * 理由: 「ミミズ(earthworm)」の中国語標準名は「蚯蚓」。
    * 学習コスト:
      + 「虫(部首)」そのものを使っていないため、一見画数が多く見えますが、「蚯」「蚓」どちらも虫偏を含んでおり、一貫して“虫系”であることを示せます。
      + 他に代替として「地龙」(中医学などで乾燥ミミズを指す)もありますが、日常的には「蚯蚓」が一般的。
24. molusk
    * 提案: 软体动物
    * 理由: 「軟体動物(mollusk)」は中国語で「软体动物」が最も標準的。1文字では対応困難です。
    * 学習コスト:
      + 4文字とやや長めだが、「软」「体」「动」「物」はいずれも比較的使用頻度が高い常用字で、他の単語にも再利用しやすい。
25. fok
    * 提案: 海豹
    * 理由: 「アザラシ(seal)」の中国語は「海豹」が代表的。
    * 学習コスト:
      + 「海」は今後、海洋動物などでの再利用が十分に期待できる常用字。
      + 「豹」(ヒョウ)はやや画数多め(9画)だが、比較的よく見る字でもある。
26. talp
    * 提案: 鼹鼠
    * 理由: 「モグラ(mole)」の標準的な中国語表現は「鼹鼠」。
    * 学習コスト:
      + 「鼹」は複雑(18画)かつレア度が高い。一文字で「モグラ」を表す常用字は存在しないため、やむを得ず標準名称を採用。
      + 代替として「盲鼠」などの造語的表現も考えられますが、標準性が低いため注意が必要。
27. vespert
    * 提案: 蝙蝠
    * 理由: 「コウモリ(bat)」は中国語で「蝙蝠」が定着。
    * 学習コスト:
      + どちらも虫偏＋比較的画数が多く、レア度もそこそこ高いが、他に通用する簡易的呼称がないため標準を採用。
28. salamandr
    * 提案: 蝾螈
    * 理由: 「サンショウウオ(salamander)」の中国語標準名。
    * 学習コスト:
      + いずれも虫偏で画数多め、しかも馴染みが薄い字。「山椒魚」(日本語)をそのまま用いる手もあるが、中国では通じない。
      + 大型種を指す俗称「娃娃鱼」は「オオサンショウウオ」限定なので汎用性に欠ける。
29. koral
    * 提案: 珊瑚
    * 理由: 「サンゴ(coral)」は中国語でも「珊瑚」で通じ、日本語でも同じ漢字を使うので連想しやすい。
    * 学習コスト:
      + 「珊」「瑚」ともに王偏の漢字。画数はそこそこだが、宝石や海洋関係の文脈でよく見かけるため妥当。
30. didelf
    * 提案: 负鼠
    * 理由: 「フクロネズミ(opossum)」は中国語で「负鼠」(「北美负鼠」とされる場合も)。
    * 学習コスト:
      + 「负」(6画)は比較的シンプルで常用度も高い(「负责」「负担」等)。
      + 「鼠」は他のネズミ系動物でも再利用。
31. sorik

* 提案: 鼩鼱
* 理由: 「トガリネズミ(shrew)」の標準名は「鼩鼱」。
* 学習コスト:
  + 2文字とも非常に画数が多くレア度も高い。
  + ただし標準的呼称としてはこれ以外に定着した1〜2文字表記がほぼ存在しない。

1. miogal

* 提案: 麝鼠
* 理由: 「ジャコウネズミ(muskrat など)」は「麝鼠」(直訳すると「麝香＋鼠」)。
* 学習コスト:
  + 「麝」(15画)は「麝香」を表す字で、ややマイナー。
  + しかし「muskrat」の中国語としては一般的。

1. hamstr

* 提案: 仓鼠
* 理由: 「ハムスター(hamster)」の中国語は「仓鼠」。
* 学習コスト:
  + 「仓」(4画)は比較的簡単で常用字(「仓库」「粮仓」など)。
  + 「鼠」は他ネズミ系単語にも再利用できる。

1. mamut

* 提案: 猛犸象
* 理由: 「マンモス(mammoth)」は中国語で「猛犸象」と書くのが一般的。
* 学習コスト:
  + 「猛」「象」は比較的よく見かける常用字。「犸」はややレアだが、マンモスを示す主要字として定着。

1. pul

* 提案: 跳蚤
* 理由: 「ノミ(flea)」の代表的中国語は「跳蚤」。
* 学習コスト:
  + 「跳」(13画)＋「蚤」(9画)。虫偏関連でまとまりはあるがやや多め。
  + 1文字で「ノミ」を表す漢字は存在しないため、標準2文字表記を採用。

1. hirud

* 提案: 水蛭
* 理由: 「ヒル(leech)」は中国語で「水蛭」が最も一般的。
* 学習コスト:
  + 「水」は最頻出クラス、「蛭」(12画)は虫偏である点以外はややマイナー。
  + 口語では「蚂蟥」もあるが、文書表現では「水蛭」が多い。

1. putor

* 提案: 欧鼬
* 理由: 「polecat(ニオイネコ？)」に正確に対応する統一的な単語は中国語ではやや曖昧ですが、「欧洲鼬(欧鼬)」として“ヨーロッパケナガイタチ”相当を示す例があります。
  + ただし「polecat」を「臭鼬」(= skunk)と混同する恐れもあるため注意。
* 学習コスト:
  + 「欧」は汎用性が高く(欧洲=ヨーロッパ)、他単語にも転用可能。
  + 「鼬」(10画)は「イタチ」を示す字で、ネズミ・イタチ関連の単語で一貫性が保てる。

1. mops

* 提案: 巴哥
* 理由: 「パグ(pug)」は現代中国語では「巴哥犬」または「哈巴狗」が使われる。近年は「巴哥(犬)」がより標準的表記。
* 学習コスト:
  + 「巴」(4画)はきわめて簡単・常用。「哥」も比較的覚えやすい。
  + 1文字に簡略化する表記は存在しない。

1. pudel

* 提案: 贵宾犬
* 理由: 「プードル(poodle)」の中国語は「贵宾犬」(直訳すると“VIP犬”)が定番。
* 学習コスト:
  + 「贵」「宾」はいずれもそこそこ常用(「贵重」「宾馆」など)。
  + 「犬」は“犬系”動物で共通利用可能。

1. kapreol

* 提案: 狍子
* 理由: 「ノロ(roe / roebuck)」は中国語で「狍子」(páozi)が一般的(シベリアノロなど)。
* 学習コスト:
  + 「狍」(9画)は動物名として中国東北地方などでよく登場。「子」は他でも頻出。
  + 「獐子」と混同される場合があるが、後者は水鹿系を指し別種。

1. rinocer

* 提案: 犀牛
* 理由: 「サイ(rhinoceros)」は中国語で「犀牛」。
* 学習コスト:
  + 「犀」はやや画数多め(約12画)だが、サイを指す常用表記として定着。
  + 「牛」は基本字で汎用性が高い。

1. alk

* 提案: 驼鹿
* 理由: 「オオシカ(elk, moose)」は中国語で「驼鹿」が“ムース”として一般的。
  + ただし「エルク(北米のelk=ワピティ)」は「马鹿」と呼ばれる場合もあり、日・英・中でやや混乱がある。
  + ここでは「moose」(学名: Alces alces)相当として「驼鹿」を提案。
* 学習コスト:
  + 「驼」(10画)は他にも「骆驼(ラクダ)」などで使われる。
  + 「鹿」(11画)はシカ全般を指す字で汎用性が高い。

1. link

* 提案: 山猫
* 理由: 「オオヤマネコ(lynx)」は厳密には「猞猁(18+11画)」が正式名だが、中国語でも「山猫」と書かれる場合がある(広義のwildcat含む)。
* 学習コスト:
  + 「山」(3画)＋「猫」(8画) は非常にシンプル。日本人にも意味が伝わりやすい。
  + 正確さよりも学習負担の低減を優先するなら「山猫」が無難。

vulp ****/**** 狐 ****/  
　・「狐」は中国語でも「キツネ」を表す常用字であり、日本語の「狐」と同形（ただし日本の旧字体だと「狐」の左が「犭」になる点に注意）。  
　・日本人にも連想しやすく、画数(8画)も極端に多くはない。  
　・「犭」偏(犬偏)は他の動物名でもしばしば登場するため、後の再利用が見込める。****

1. lepor(野ウサギ) / 兔 /  
   　・中国語では「兔」はウサギ全般を指し得る。野ウサギ専用の簡体字は存在しないため、単に「兔」を割り当て、必要に応じて区別(上付き文字など)を考える。  
   　・画数は比較的少なめ(8画程度)。  
   　・ウサギ系統の語根で統一した方が漢字の種類が増えず学習コストを抑えられる。
2. kunikl(イエウサギ) / 兔 /  
   　・上記(lepor)同様、家ウサギを示す漢字は「家兔」などもあるが、あえて単字「兔」で統一。  
   　・「lepor」と同じ字を使い、上付き文字などで区別することで漢字数を抑える。
3. testud(カメ) / 龟 /  
   　・中国語の「龟(亀)」はカメ全般を指す常用字。  
   　・画数7～8画(簡体字)で比較的少なく、日本人にも連想しやすい。
4. ran(カエル) / 蛙 /  
   　・中国語「蛙」は「カエル」の意で常用語。日本語でも「蛙」の旧字体は同形なので意味を推測しやすい。  
   　・画数(8画)もそれほど多くなく、虫偏「虫(むしへん)」は他の動物名(昆虫や爬虫・両生類)にも使われる可能性がある。
5. lacert(トカゲ) / 蜥 /  
   　・標準的には「蜥蜴(xī yì)」だが、1文字に収める場合は「蜥」か「蜴」のいずれかを用いる。ここでは先頭字「蜥」を採用。  
   　・虫偏(虫へん)の再利用が可能であり、今後の他生物にも応用しやすい。  
   　・単字「蜥」だけでは日本語話者にはややピンとこないが、画数を抑えたい点を優先。
6. sciur(リス) / 松鼠 /  
   　・中国語の常用表記は「松鼠」。1文字にできないため2文字熟語を採用。  
   　・「鼠」は後述のネズミ系語根でも使用予定のため再利用できる。「松」は画数8画だが比較的よく使われる字で汎用性もある。  
   　・「松鼠」とすることで、中国語話者には即通じ、日本語話者も「松(まつ)＋鼠(ねずみ)」からなんとなくリスを連想可能。
7. mus(ハツカネズミ) / 鼠 /  
   　・中国語では「鼠」はネズミ全般を指す単字として使用可。「老鼠」もあるが、単字に統一して学習コストを下げる。  
   　・画数(13画)はやや多めだが、今後も「rat(ドブネズミ)」などと同字を共有することで種類を増やさない方針。
8. rat(ネズミ) / 鼠 /  
   　・上記「mus」と同様に「鼠」を割り当てる。  
   　・必要に応じてハツカネズミとの違いは上付き文字等で区別。  
   　・これにより「mus」「rat」で重複のない新漢字を増やさずに済む。
9. panter(ヒョウ, パンター) / 豹 /  
   　・中国語では「豹」(bào)が標準。  
   　・日本語でも「豹」はヒョウの意味を直感しやすい。画数は10画。  
   　・後述の「leopard」も同じ字にして区別を上付き文字などで行う予定。
10. hipopotam(カバ) / 河马 /  
    　・中国語でカバは「河马」が一般的(“川の馬”という直訳的な形)。  
    　・「马」(馬の簡体字)は今後他の馬関連でも再利用可能で、画数(3画)が少ないメリットも大。  
    　・「河」は8画だが、「水」や「氵」の要素(さんずい)が他の水生動物でも登場し得るため、そこも再利用が期待できる。
11. serpent(ヘビ) / 蛇 /  
    　・中国語で一般的に「蛇」。画数は10画。  
    　・日本語でも「蛇」の字(へび)は連想しやすい。  
    　・「虫(むしへん)＋它」の形であり、これまでに出てきた虫偏とも関連。
12. simi(サル) / 猴 /  
    　・中国語で「猴」は一般的に“サル”を指す。より大型の類人猿は「猿」と区別されることも多いが、本語根は広義のサルを含むので「猴」を採用。  
    　・画数12画で少々多いが、左右構成(犭＋侯)であり、犬偏はほかの動物でも再利用可。
13. arane(クモ) / 蜘蛛 /  
    　・中国語で標準的に「蜘蛛」。1文字の「蛛」は単独では通じにくい。  
    　・日本語でも「蜘蛛」は常用表現(読み「くも」)なので分かりやすい。  
    　・画数合計は多い(「蜘」13画＋「蛛」11画=24画)が、虫偏を使う動物名として整理可能。
14. leopard(ヒョウ) / 豹 /  
    　・「panter」と同じ動物系語根(ヒョウ、豹)のため同一の「豹」を採用。  
    　・区別が必要な場合は上付き文字等で対応。
15. ŝakal(ジャッカル) / 豺 /  
    　・中国語の常用字「豺」(chái)。ジャッカルやオオカミに似た野生犬科動物を指す。  
    　・日本語でも「豺」は“ヤマイヌ(柴犬ではなく豺狼の豺)”とされ、ややマイナーではあるが漢和辞典等で把握可能。  
    　・画数(8画)は比較的少ない。
16. mel(アナグマ) / 獾 /  
    　・中国語の通用字は「獾」(huān)。単字表記。  
    　・画数は16画とやや多いが、ほかに簡易表現が少なく、妥当な割当とする。  
    　・「犭(犬偏)」を再利用できるため、新規要素は後半の「睘(けい)」部のみ。
17. buf(ヒキガエル) / 蟾蜍 /  
    　・中国語でヒキガエルは「蟾蜍」(chánchú)が標準。1文字では通じにくい。  
    　・画数は多いが(蟾19＋蜍13=32画)、他の常用単語(「癞蛤蟆」など)も難読であり、最も一般的な表現を優先した。  
    　・虫偏を再利用しつつ、両生類の代表的熟語としてまとめる。
18. erinac(ハリネズミ) / 刺猬 /  
    　・中国語で一般に「刺猬」(cìwei)。単字「猬」は通じるが、より標準的な2文字熟語を優先。  
    　・「刺」(8画)＋「猬」(12画)で合計20画となるが、他の選択肢も少ない。  
    　・「猬」は犭(犬偏)＋畏(音)の構成。既出の犬偏を再利用できる。
19. zebr(シマウマ) / 斑马 /  
    　・中国語でシマウマは「斑马」(bānmǎ)が一般的。  
    　・「马」(3画)は今後ほかの馬系動物にも転用しやすい。  
    　・「斑」は12画とやや多いが、日本語でも「斑(まだら)」の意で通じるため連想しやすい。
20. lutr(カワウソ) / 水獭 /  
    　・中国語では「水獭」(shuǐtǎ)が標準的。単字「獭」(16画)だけでも意味は通るが、2文字熟語の方がわかりやすい。  
    　・「水」(4画)は極めて基本的で汎用性が高い字。  
    　・「獭」も「犭」偏を再利用できるため、新たな偏旁は増やさない。
21. antilop(カモシカ, アンテロープ類) / 羚羊 /  
    　・中国語でアンテロープ系は「羚羊」(língyáng)が一般的。  
    　・「羊」(6画)はヒツジ類に通じる基本字。「羚」は8画だが比較的よく見かける形。  
    　・両字とも日本語でも漢和辞典等で意味を推定できる。

kamel

* + 提案漢字: 「骆驼」
  + 選定理由:
    - 中国語の標準的な「ラクダ」を表す語であり、日本語でも「駱駝(らくだ)」と対応するため、日中いずれも一目で想起しやすい。
  + 学習コスト:
    - 新規導入となる漢字は2文字(「骆」「驼」)だが、どちらも日本語の「駱駝」と対応しているため、日中間で意味を推測しやすい。

1. ĉam（カモシカ相当の「シャモア」）
   * 提案漢字: 「羚羊」
   * 選定理由:
     + シャモアはヤギ亜科の一種で、広義には“レイヨウ(羚羊)”の仲間と捉えられることも多い。
     + 「羚羊」は中国語では「アンテロープ/レイヨウ」の総称として頻出する熟語で、日本語でも「羚羊」という漢字表記を見ればヤギやカモシカに近い動物だと推測しやすい。
   * 学習コスト:
     + 「羚」「羊」2文字はいずれも比較的画数は少なめ(ともに12画以下)で、ほかのヤギ・ヒツジ系にも応用可能。
2. regol (キクイタダキ; goldcrest)
   * 提案漢字: 「未対応」
   * 選定理由:
     + 中国語の正式名は「戴菊莺」(あるいは「戴菊鸟」など)となり、画数が多く学習コストが高い。
     + 簡便な1～2文字で当てるのは難しく、日本語・中国語とも日常的に馴染みが薄い鳥種であることから、今回は「未対応」とする。
3. kornik (コガラス; hooded crow)
   * 提案漢字: 「鸦」
   * 選定理由:
     + カラス科なので、まとめて「鸦」(カラス)に集約し、後で上付き文字などで区別する。
   * 学習コスト:
     + 1文字のみでシンプル。カラス属全般を「鸦」で統一することで他のカラス科も使い回せる。
4. merl (クロウタドリ; blackbird)
   * 提案漢字: 「鸟」
   * 選定理由:
     + ツグミ科の一種だが、あまり一般的な一文字呼称が中国語にないため、汎用的な「鸟」(鳥)で対応する。
     + 黒色の鳥という意味までは一字で表現しづらいが、上付き文字などで「黒鳥」相当と区別可能。
   * 学習コスト:
     + 「鸟」は既出ないし今後も頻繁に登場する根幹の字で、学習者にとって必須度が高い。
5. tetr (クロライチョウ; black grouse)
   * 提案漢字: 「鸡」
   * 選定理由:
     + キジ目(Galliformes)の一種なので、まとめて「鸡」(鶏)に集約。後で別種区別用の符号を付す想定。
   * 学習コスト:
     + 画数が少なく、鶏関連で広く使い回せる字。
6. frugileg (ミヤマガラス; rook)
   * 提案漢字: 「鸦」
   * 選定理由:
     + カラス科なので「鸦」にまとめる。
   * 学習コスト:
     + 既出の「鸦」再利用のため、新規漢字の追加なし。
7. moned (コクマルガラス; jackdaw)
   * 提案漢字: 「鸦」
   * 選定理由:
     + 同上、カラス科につき「鸦」で統合。
8. garol (カケス; jay)
   * 提案漢字: 「鸦」
   * 選定理由:
     + こちらもカラス科の一種(カケス属)、同様に「鸦」へ集約。
9. urogal (オオライチョウ; capercaillie)

* 提案漢字: 「鸡」
* 選定理由:
  + キジ目の一種なので「鸡」に集約。

1. oriol (コウライウグイス; oriole)

* 提案漢字: 「鸟」
* 選定理由:
  + 本来は「黄鹂」などが標準だが「鹂」は画数が多くやや珍字。
  + シンプルに「鸟」でまとめ、後で「黄鳥」といった補足を付ける想定でもよい。
* 学習コスト:
  + 既出の「鸟」再利用のため、新規コスト不要。

1. arde (アオサギ; heron)

* 提案漢字: 「鹭」
* 選定理由:
  + 中国語ではサギ類を「鹭(egret/heronの総称)」とする場合が多く、日本語の「鷺(さぎ)」にも近い。
  + 一文字で“サギ類”を比較的直感しやすいため採用。
* 学習コスト:
  + 初出のため新規1字追加だが、サギ全般に応用できる利点あり。

1. hortulan (アオジ？オルトラン; ortolan bunting)

* 提案漢字: 「未対応」
* 選定理由:
  + 正式和名・中国名ともに一般的でなく、一文字・二文字でうまく割り当てるのは難しいため見送り。

1. pav (孔雀; peacock)

* 提案漢字: 「孔雀」
* 選定理由:
  + 日中どちらでも定着している熟語であり、一目で孔雀(くじゃく)とわかる。
* 学習コスト:
  + 新規2字(「孔」「雀」)の導入となるが、「雀」はスズメ(雀)としても使われ、応用範囲が広い。

1. kok (ニワトリ; chicken)

* 提案漢字: 「鸡」
* 選定理由:
  + 現代中国語における標準表記であり、日常頻度が高く、かつ画数が少ない。

1. bird (鳥)

* 提案漢字: 「鸟」
* 選定理由:
  + 中国語で“鳥”を意味する基本字。あらゆる鳥類に共通する根幹の文字として必須。

1. anas (アヒル; duck)

* 提案漢字: 「鸭」
* 選定理由:
  + 中国語でアヒル/カモ系を表す基本字「鸭」(鴨)。画数も比較的少ない。

1. agl (ワシ; eagle)

* 提案漢字: 「鹰」
* 選定理由:
  + 中国語でタカ・ワシ類の総称によく使われる。やや画数は多いが、ワシ・タカ類全般を連想しやすい。

1. kolomb (ハト; pigeon)

* 提案漢字: 「鸽」
* 選定理由:
  + 現代中国語でハトを表す基本字「鸽」(鳩)。

1. gru (ツル; crane)

* 提案漢字: 「鹤」
* 選定理由:
  + 中国語でツル科を指す基本字「鹤」。日本語の「鶴(つる)」に通じ、連想しやすい。

1. strut (ダチョウ; ostrich)

* 提案漢字: 「鸵鸟」
* 選定理由:
  + 中国語でダチョウを表す標準熟語(“駝鳥”の簡体字)。
  + 1文字「鸵」だけではやや通じにくいので、標準2文字表記を優先。

1. cign (ハクチョウ; swan)

* 提案漢字: 「天鹅」
* 選定理由:
  + 中国語でスワンを表す標準表記。「鹅」単独だとガチョウ一般になってしまうので、「天鹅」で白鳥を想起しやすい。

anser

* + 提案: 鹅
  + 理由: 簡体字で「ガチョウ」を表す最も一般的な1文字。「雁(ガン)」もあるが、家禽のガチョウには「鹅」がより典型的。
  + 学習コスト: 1文字で済む。日本語話者にはやや馴染みが薄いが、「鵞鳥」(がちょう)の略字と理解すれば納得しやすい。

1. sturn
   * 提案: 椋鸟
   * 理由: 中国語で「ムクドリ」を指す一般的表記は「椋鸟」。日本語でも「椋(むく)鳥」という漢字を当てるため、双方で意味が推測しやすい。
   * 学習コスト: 2文字だが、「鸟」を他の多くの鳥類名称でも再利用するため、全体的負担は抑えられる。
2. vanel
   * 提案: 麦鸡
   * 理由: 「タゲリ」は中国語で「凤头麦鸡(※4文字)」が正式だが、省略形として「麦鸡」も見かける。画数が比較的少なく、後半の「鸡」を再利用できる。
   * 学習コスト: 2文字で、しかも「鸡」は他の語根(七面鳥など)にも使うため学習負担を抑えられる。
3. meleagr
   * 提案: 火鸡
   * 理由: 「七面鳥」を表す標準的な中国語表記。「火(炎)＋鸡(鶏)」で意味を連想しやすい。
   * 学習コスト: 2文字。「鸡」を再利用可能。
4. perdrik
   * 提案: 石鸡
   * 理由: 「シャコ(シャコウ雉)」やパートリッジ類は中国語で「石鸡」と呼ばれる場合がある(チャカロなど一部の種)。2文字でシンプル。
   * 学習コスト: 「鸡」を流用できるため、学習負担が比較的低い。
5. papili
   * 提案: 蝶
   * 理由: 「チョウ(蝶)」を示す単漢字。中国語の「蝴蝶」を簡略化し、1文字に収めた。日本語の「蝶」と同形。
   * 学習コスト: 1文字だがやや画数が多い。しかし「虫偏＋世(or 叶など)」の構造で、認識はしやすい。
6. kolibr
   * 提案: 蜂鸟
   * 理由: 「ハチドリ(ハチスズメ)」を意味する最も一般的な中国語表記。「蜂＋鸟」の組合せで分かりやすい。
   * 学習コスト: 2文字目「鸟」は再利用可能。
7. papag
   * 提案: 鹦鹉
   * 理由: 「オウム・インコ類」を指す標準的な中国語表記。残念ながら1文字化は困難。
   * 学習コスト: 2文字だが、どちらも「鳥」偏が含まれ、視覚的に「鳥」であると連想しやすい。
8. pig
   * 提案: 鹊
   * 理由: 「カササギ」を指す簡体字。2文字形「喜鹊」もあるが、より簡潔に1文字で成立する。
   * 学習コスト: 1文字で済み、画数(10画)も許容範囲。
9. fazan

* 提案: 雉
* 理由: 「キジ」を示す簡体字でもあり、日本語の「雉」と同形。
* 学習コスト: 1文字で済む。日本語話者にも直感的に分かりやすい。

1. falk

* 提案: 隼
* 理由: 「ハヤブサ」を指す漢字。日本語でも同じ文字を用いるので連想しやすい。
* 学習コスト: 1文字かつ画数も少ない(4画)ため、とても学習しやすい。

1. pirol

* 提案: 灰雀
* 理由: 「ウソ(bullfinch)」は中国語で「红腹灰雀」などが使われるが、短縮して「灰雀」とする例もある。
* 学習コスト: 2文字。後半の「雀」はスズメ類に多用される漢字なので再利用可能。

1. peg

* 提案: 啄木鸟
* 理由: 「キツツキ」を意味する標準的な中国語。「木を啄(ついば)む鳥」の直訳イメージが強いので分かりやすい。
* 学習コスト: 3文字だが、末尾の「鸟」は再利用可能。全体としてもよく知られた表記。

1. skolop

* 提案: 鹬
* 理由: 「シギ・チドリ類」のうち、特に「シギ科(鹬科)」を示す単漢字。
* 学習コスト: 1文字。やや画数(10画)はあるが、「鸟」偏なので鳥だと分かりやすい。

1. cikoni

* 提案: 鹳
* 理由: 「コウノトリ」を意味する中国語の簡体字。日本語の「鸛(こう)」の簡体形に相当。
* 学習コスト: 1文字で済む。日中ともに「コウノトリ」を連想しやすい部類。

1. paser

* 提案: 雀
* 理由: 「スズメ」の意味を持つ漢字。日本語でも「雀」と同形。
* 学習コスト: 1文字だが11画。既に(12)「灰雀」の後半と同じなので再利用しやすい。

1. vultur

* 提案: 秃鹫
* 理由: 「ハゲタカ」を指す標準的中国語。「秃(はげ)＋鹫(禿鷹)」で非常に分かりやすい。
* 学習コスト: 2文字で済む。どちらも鳥偏含みの形で鳥類と認識しやすい。

1. kukol

* 提案: 杜鹃
* 理由: 「カッコウ」を指す代表的な中国語表記(「布谷鸟」もある)。日本語にも「杜鵑(とけん)」の熟語が存在。
* 学習コスト: 2文字。後半「鹃」は鳥偏あり。

1. strig

* 提案: 猫头鹰
* 理由: 「フクロウ」の一般的な中国語表記。「猫の頭をした鷹」というイメージで覚えやすい。
* 学習コスト: 3文字とやや長いが、中国語圏での知名度が高く、意味も直感的に分かる。

1. ibis

* 提案: 朱鹮
* 理由: 「トキ(朱鷺)」に対応する中国語。特に「朱鹮」は「ニッポニア・ニッポン(朱鷺)」の標準名称として有名。
* 学習コスト: 2文字。どちらも比較的よく使われる漢字。

1. guf

* 提案: 雕鸮
* 理由: 「ワシミミズク」(Eagle owl)を指す中国語(とくに「雕鸮属」)。
* 学習コスト: 2文字だが、どちらも鳥偏が含まれ、フクロウ系とわかる。

1. kolimb

* 提案: 潜鸟
* 理由: 「アビ」(loon, diver)の中国語。「水に潜る鳥」という直訳で分かりやすい。
* 学習コスト: 2文字。「鸟」は再利用可能。

1. hirund / 燕 /  
   選定理由: ツバメ(燕)は日中双方で比較的よく知られる表記。「燕」は日本語でも「ツバメ」の意で使われるため連想しやすい。  
   学習コスト: 1文字で完結し意味もはっきりしているため採用。やや画数は多めだが、鳥類名としては有名な漢字。
2. koturn / 鹌鹑 /  
   選定理由: ウズラの標準的な簡体字表記は「鹌鹑」。単独1文字で表す例は稀で、まとめて2文字が一般的。  
   学習コスト: 2文字だが、どちらもウズラを指すときにはセットで用いられるため、中国語圏では認知度が高い。一方、日本人にはややなじみが薄い可能性はあるが、単独の簡体字よりは通用度が高い。
3. milv / 鸢 /  
   選定理由: トビ(鷹の一種: kite)を示す簡体字は「鸢(鳶)」。中国語でも “kite” として使われる。  
   学習コスト: 1文字で、画数も比較的少なめ(6画)。日本語の「鳶」の簡体字形だが、やや馴染みが薄い点は注意。
4. turt / 斑鸠 /  
   選定理由: キジバト(Oriental turtle dove) は中国語で「斑鸠」が一般的。  
   学習コスト: 2文字。「斑」は「まだら」「斑点」を意味し、日本語でもイメージしやすい。「鸠」は「鳩」の簡体字であり、すでに他の鳥類表記にも応用できる可能性あり。
5. noktu / 小鸮 /  
   選定理由: コフクロウ・スズメフクロウ等、小型フクロウ類を指すとき、中国語では「小鸮(= little owl)」が用いられる。  
   学習コスト: 2文字。「鸮」は「鴞(フクロウ)」の簡体字形で、ややレアだが「猫头鹰(フクロウ全般)」より短くまとまる。
6. tetra / 榛鸡 /  
   選定理由: エゾライチョウ(hazel hen) は中国語で「榛鸡」と呼ぶのが一般的。「榛」は “ハシバミ(ヘーゼル)”、「鸡」は “鶏” の簡体字。  
   学習コスト: 2文字で正式名称。「榛」はやや画数が多いが、「鸡」は再利用可能。
7. akcipitr / 鹰 /  
   選定理由: タカ属(Accipiter)全般を中国語では「鹰(鷹)」と総称することが多い。  
   学習コスト: 1文字。「鷹」の簡体字であり、日中とも猛禽類のイメージにはつながりやすい。
8. niz / 雀鹰 /  
   選定理由: ハイタカ(sparrow hawk) は中国語で「雀鹰」。  
   学習コスト: 2文字。「鹰」は既出(akcipitr)の再利用。「雀」(スズメ)も他の鳥名で転用が可能。
9. fring / 燕雀 /  
   選定理由: アトリ(=Brambling) は中国語名が「燕雀」。  
   学習コスト: 「燕」は(1)で既出、「雀」は(8)で既出。2文字ながら既存漢字の組み合わせなので新しい負担は少ない。
10. alcion / 翠鸟 /  
    選定理由: カワセミ(kingfisher) の中国語標準表記は「翠鸟」(翡翠色の鳥)。  
    学習コスト: 2文字。新たに「翠」「鸟」を導入するが、「鸟」は鳥全般の基本文字として汎用性が高い。
11. mev / 鸥 /  
    選定理由: カモメ(gull) は中国語で「鸥(鷗)」を用いる。  
    学習コスト: 1文字で済む。「海鸥」とも書くが、1文字「鸥」で十分にカモメを指す。
12. korv / 鸦 /  
    選定理由: カラス(crow/raven) は「鸦(鴉)」。中国語でもカラス属の総称に用いる。  
    学習コスト: 1文字で意味が明確。画数も6画と比較的少なめ。
13. alaŭd / 云雀 /  
    選定理由: ヒバリ(lark) は中国語で「云雀」。  
    学習コスト: 2文字。すでに「雀」は再利用可。「云」は4画で書きやすい。
14. najtingal / 夜莺 /  
    選定理由: ナイチンゲール(nightingale) は「夜莺」が中国語名として定着。  
    学習コスト: 2文字。「莺」は鶯(ウグイス/ヨーロッパの小鳥)の簡体字。「夜」は8画で比較的易しい。
15. paru / 大山雀 /  
    選定理由: シジュウカラ(titmouse) は中国語で「大山雀(=Great Tit)」と呼ぶのが一般的。  
    学習コスト: 3文字だが、「雀」は既出。「大」「山」は画数が少なく、他でも使いやすい。
16. kardel / 金翅雀 /  
    選定理由: ゴシキヒワ(European goldfinch等)は「金翅雀」が短縮形として使われる。  
    学習コスト: 3文字。「雀」は既出。「金」「翅」は新規だが、鳥類の漢字として転用可能(「翅」は昆虫にも関連)。
17. kokcinel / 瓢虫 /  
    選定理由: テントウムシ(ladybird) は「瓢虫」が広く通用。「七星瓢虫(ナナホシ…）」などもあるが、総称は「瓢虫」。  
    学習コスト: 2文字だが、「虫」は昆虫一般に転用しやすい。「瓢」は少し珍しいが、他の熟語でも使われる可能性あり。
18. silvi / 林莺 /  
    選定理由: シルビア属(warbler類)は中国語で「林莺」などと表記される場合が多い。  
    学習コスト: 2文字。「莺」は(14)ですでに登場。「林」は画数が少なく学習負担も比較的軽い。
19. skarab / 独角仙 /  
    選定理由: カブト虫(Japanese rhinoceros beetle) は中国語で「独角仙」が一般的。  
    学習コスト: 3文字。正式名として有名。やや画数は多いが、一度覚えればカブトムシ類を連想できる。
20. kantarid / 虎甲虫 /  
    選定理由: ハンミョウ(tiger beetle) は中国語で「虎甲虫」。blister beetle(斑蝥)とは別種なので注意。  
    学習コスト: 3文字。「虫」は既出。「甲」や「虎」は比較的シンプルで、他の昆虫名や動物名にも使える。
21. burd / 熊蜂 /  
    選定理由: マルハナバチ(bumblebee) は中国語で「熊蜂」。  
    学習コスト: 2文字。「蜂」は昆虫全般に応用しやすいが、新規導入の「熊」はやや画数が多い。とはいえ標準的な名称。
22. taban / 虻 /  
    選定理由: アブ(horsefly/gadfly) は中国語で「虻」。単独1文字でもそのまま「アブ」を指せる。  
    学習コスト: 1文字で簡潔。「虫」偏を含み、形からも昆虫だとわかりやすい。

lampir / 萤 /選定理由: ****螢(伝統)の簡体字で「ホタル」の意。1文字で表せる。****補足: ****「艹(草冠)」を含むが、頻用部首で他の植物関連語にも流用可能。****

* alg / 藻 /  
  選定理由: 「藻」は藻類を指す代表的な単字表現。  
  補足: 画数はやや多い(14画)が、他に適切な1字表現がないため採用。艹(草冠)を再利用。
* spong / 海绵 /  
  選定理由: スポンジを意味する一般的な簡体表現。1文字で「スポンジ」を表す字は存在しない。  
  補足: 新出の「海」「绵」だが、いずれも比較的よく使われる常用字。
* akrid / 蝗 /  
  選定理由: 「蝗」はイナゴやバッタ、特に「蝗虫(こうちゅう)」=「locust」を指す1文字。  
  補足: 「虫」の部首を再利用。比較的わかりやすい。
* formik / 蚂蚁 /  
  選定理由: アリを指す標準的な簡体表記。1文字では存在しないため2文字。  
  補足: 「蚂」「蚁」ともに「虫」偏を含むので、虫関連の共通部首を再利用できる。
* cikad / 蝉 /  
  選定理由: 「蝉」はセミを指す簡体字(伝統は「蟬」)。1文字で済む。  
  補足: 「虫」偏を再利用。画数も10画程度。
* termit / 白蚁 /  
  選定理由: シロアリを指す最も一般的な簡体表現。「白＋蚁」。  
  補足: 「蚁」はすでに(formik)で使用しているため、学習コストを抑えられる。
* libel / 蜻蜓 /  
  選定理由: トンボを指す標準的な2文字表現。1文字で「トンボ」は存在しない。  
  補足: いずれも「虫」偏を再利用している。
* turd / 鸫 /  
  選定理由: ツグミ類(スラッシュ全般を含む)を指す単字。「鸫(dōng)」はややマイナーだが、他に1字が無いため採用。  
  補足: 鳥偏「鸟」を再利用できる可能性あり(別の鳥関連用語にも)。
* krabr / 胡蜂 /  
  選定理由: スズメバチ(ホーネット)を指す一表現。「马蜂」など別名もあるが、ここでは「胡蜂」を採用。  
  補足: 「蜂」は虫偏で、のちに別の蜂/スズメバチ系の語にも流用可能。
* gril / 蟋蟀 /  
  選定理由: コオロギを意味する標準的な2文字表記。1文字が存在しないため2字で。  
  補足: いずれも虫偏を再利用。「蟋」「蟀」はやや画数が多め。
* kokon / 茧 /  
  選定理由: 繭を指す簡体字(伝統は「繭」)。1文字で収まる。  
  補足: 「艹(草冠)」の変形(上部の草冠)を含むが、すでにalgやfungなどで草冠は学習済み。
* fung / 菌 /  
  選定理由: キノコ・菌類全般を指し得る単字。「蘑菇」より画数が少なく汎用的。  
  補足: 艹(草冠)を再利用し、学習コストを抑えられる。
* moskit / 蚊 /  
  選定理由: 「蚊子」の略だが、単字「蚊」で「蚊」を指すのが普通。  
  補足: 虫偏の再利用。
* kul / 蚊 /  
  選定理由: エスペラント「kul(o)」も蚊(またはブヨ類)を指すことが多いため、同じ字を再利用。  
  補足: 同語義ゆえ再割当可。後で上付き文字などで区別対応。
* verm / 虫 /  
  選定理由: ミミズや芋虫など「一般的な虫/ミミズ状生物」を表すのに最適な単字。  
  補足: 漢字「虫」そのものを使うことで極めてシンプルかつ再利用性が高い。
* larv / 幼虫 /  
  選定理由: 幼虫を指す標準表現。1文字は無いため「幼虫」に。  
  補足: 「虫」は既出なので追加負担は「幼」のみ。
* raŭp / 毛虫 /  
  選定理由: イモムシ(毛虫)全般を表すときに使われる中国語表現。「毛＋虫」。  
  補足: 「虫」は既出のため、新出は「毛」のみ。
* akar / 螨 /  
  選定理由: ダニ(ダニ目=mite)を指す簡体字。1文字で表す場合は「螨」しかない。  
  補足: 虫偏を再利用。ただしやや画数が多め(16画)。
* insekt / 昆虫 /  
  選定理由: 「昆虫」の一般的な表記。1文字が無いため2字。  
  補足: 「虫」は既出。新出の「昆」は基本的な常用字。
* vesp / 蜂 /  
  選定理由: Wasp/黄蜂系を指す単字。「蜂」は蜂類を指す一般的な漢字で汎用性が高い。  
  補足: すでに「胡蜂」などで使っている「蜂」を単独流用。
* tine / 衣鱼 /  
  選定理由: 日本語で「衣魚(シミ)」に相当する昆虫は中国語で「衣鱼」と表記。  
  補足: 2文字だが「衣」「鱼」はどちらも画数が少なく、比較的わかりやすい。

1. cim / 虫 /
   * 選定理由: 「なんきん虫」(bedbug)を直接表す漢字は存在しないが、広義の「虫」で統合表現可能。画数も少なく学習コストが低い。
   * 学習コスト: 既に他の虫系語根でも「虫」を使うため重複利用しやすい。
2. muŝ / 虫 /
   * 選定理由: 本来は「蝇(ハエ)」などが正確だが、画数が多いため、ここでは「虫」を再利用。
   * 学習コスト: 「虫」を使い回すことで新規漢字を増やさない。
3. abel / 虫 /
   * 選定理由: 「蜂(ミツバチ)」でもよいが、画数と漢字バリエーション削減のため「虫」を統合使用。
   * 学習コスト: 既出の「虫」を使い回すため負担が増えない。
4. fagot / 巴松 /
   * 選定理由: 中国語で「ファゴット」は「巴松」(または「巴松管」)が一般的表記。2文字で比較的コンパクト。
   * 学習コスト: 「巴」「松」ともに比較的常用される漢字で、他にも転用の余地がある(例:「松」は「松(まつ)」で日本人にも馴染みあり)。
5. fanfar / 号角 /
   * 選定理由: 中国語で「号角」は「ファンファーレ」に近いイメージ(ラッパ・喇叭の響き)。日本語でも「号角」という言葉自体は存在するため、ある程度類推可能。
   * 学習コスト: 「号」「角」ともに画数が比較的少なく、ほかの用語への再転用もしやすい。
6. flan / 布丁 /
   * 選定理由: 中国語の「布丁(bùdīng)」はプリン類の総称に近いが、フラン(洋菓子)にも概ね通じる。1文字化は困難なので2文字熟語で。
   * 学習コスト: 「布」「丁」ともに画数が少なく、学習コストが低い。
7. flanel / 法兰绒 /
   * 選定理由: 中国語で「フランネル」は一般的に「法兰绒」。他の短縮形はあまり定着していない。
   * 学習コスト: やや画数は増えるが、中国語では通用度が高く、日本人も「法蘭絨」の旧字体などで“フランネル”と類推しやすい。
8. frank / 法郎 /
   * 選定理由: フラン(通貨)は中国語で「法郎」が一般的(フランス通貨などで馴染み)。
   * 学習コスト: 「法」は上記(法兰绒など)で既出、重複利用しやすい。「郎」も比較的常用範囲。
9. floren / 佛罗林 /
   * 選定理由: フロリン(Florin)を中国語で表す際の転写例として「佛罗林」が使われる場合がある(※他にも「弗罗林」など揺れあり)。
   * 学習コスト: 3文字ではあるが、通貨名としては比較的わかりやすい音訳。「佛」「罗」「林」は他でも使い回しやすい常用字。
10. falang / 方阵 /

* 選定理由: 「密集方陣」の意だが、簡潔に「方阵」とするのが中国語では一般的。
* 学習コスト: 2文字で画数も少なく、他で使う可能性もある(「方」や「阵」)。

1. parafin / 石蜡 /

* 選定理由: 中国語で「パラフィン」は通常「石蜡」(＝石のように固い蝋)と書く。
* 学習コスト: 「石」は既出・再利用しやすいが、「蜡」はやや画数が多いものの、ワックス系表現には必須。1文字にする手段がないため妥当。

1. relief / 浮雕 /

* 選定理由: 中国語で彫刻の「レリーフ」は「浮雕」が一般的。
* 学習コスト: 「浮」「雕」いずれも比較的よく使われる。2文字構成で済み、わかりやすい。

1. barelief / 浅浮雕 /

* 選定理由: 「浅浮彫り」は中国語で「浅浮雕」。
* 学習コスト: 「浅」「浮」「雕」の3文字だが、「浮」「雕」は上記(12)と重複利用。「浅」も日常的な漢字。

1. fresk / 壁画 /

* 選定理由: 本来「フレスコ画」は「湿壁画」等とも言うが、中国語では一般に「壁画(壁に描かれた絵)」とまとめがち。画数を抑えるため「壁画」2文字で提案。
* 学習コスト: 「壁」「画」は頻出度が高く、他でも転用可能。

1. rokok / 洛可可 /

* 選定理由: ロココ式は中国語で「洛可可」が一般的転写。
* 学習コスト: 3文字だが、いずれも日常的な常用字。

1. ciklop / 独眼巨人 /

* 選定理由: キュクロプスは「独眼巨人」で通じる。
* 学習コスト: 4文字だが、いずれも基本的な漢字。「独」「眼」「巨」「人」。

1. cirkumfleks / 抑扬符 /

* 選定理由: サーカムフレクス(ˆ)は中国語で「抑扬符」などと呼ばれることがある。1文字化は困難。
* 学習コスト: やや専門用語だが、ほかに選択肢が少ない。

1. franĝ / 流苏 /

* 選定理由: 「房飾り」「フリンジ」系は中国語では「流苏(房飾り・飾り紐)」が一般的。
* 学習コスト: 2文字で比較的短い。日本語話者にとっては「流」「苏」自体は学習必須漢字ではないが、画数は多すぎない。

1. tonsur / 削发 /

* 選定理由: 剃髪・宗教的な頭髪の儀式を指す場合、中国語で「削发」と言えば「頭を剃る」行為を広く示す。
* 学習コスト: 「削」は常用字で、「发」は簡体字(日本語の「髪」に相当)。2文字で済む。

1. tril / 颤音 /

* 選定理由: 音楽用語の「トリル」は中国語で「颤音」が一般的。
* 学習コスト: 「颤」はやや画数が多いが、専門用語ゆえ仕方ない。「音」は再利用しやすい。

1. vals / 华尔兹 /

* 選定理由: ワルツは中国語で「华尔兹」が最も通用する表記(音訳)。日本語話者にはやや当て字風だが、中国側では一般的。
* 学習コスト: 3文字合計の画数は多くない。日本語圏向けに「圆舞曲」も考えられるが、画数が増えるためこちらを採用。

1. flut / 长笛 /

* 選定理由: フルートは中国語で「长笛」が通例(「笛」だけだと範囲が広い)。
* 学習コスト: 「长」は画数が少なく、「笛」も比較的常用。2文字に抑えられる。

trumpet

* + 提案: 小号
  + 理由: 中国語でトランペットを指す一般的な呼称のひとつ。「喇叭」もあるが「喇」は画数が多めで、日本人にも馴染みにくい。
  + 学習コスト: 「小」「号」はいずれも初級レベルで頻出する漢字のため学習コストが比較的低い。

1. tambur
   * 提案: 鼓
   * 理由: 中国語で「ドラム」の意味をもつ代表的な単字。
   * 学習コスト: 日本人にも「鼓(つづみ)」「太鼓」などで馴染みのある漢字であり、比較的覚えやすい。
2. tamtam
   * 提案: 锣
   * 理由: タムタムは大型のゴング状打楽器で、中国語圏では広義の「锣(ゴング)」に分類される。
   * 学習コスト: 「钅(金偏)」を含む金属関連の漢字は他にも登場が想定され、「锣」自体の画数(10画)もそれほど多くない。
3. cimbal
   * 提案: 钹
   * 理由: 中国語の「シンバル」に該当。こちらも金偏(钅)を使う。
   * 学習コスト: 「锣」と同じ金偏を使うため、偏旁の使い回しができる。画数は10画で許容範囲。
4. violonĉel
   * 提案: 大提琴
   * 理由: 中国語でチェロを表す一般的名称。「提琴」はバイオリン属を指し、「大提琴」でチェロ。
   * 学習コスト: 「提」「琴」ともにやや画数はあるが、バイオリン属(小提琴・中提琴・大提琴)で共通要素「提琴」を使い回せる。
5. ksilofon
   * 提案: 木琴
   * 理由: 中国語で「シロホン」は「木琴」と呼ぶのが分かりやすい。
   * 学習コスト: 「木」「琴」はいずれも他の楽器名などに登場する可能性が高く、転用性がある。
6. sopran
   * 提案: 女高音
   * 理由: 中国語の「ソプラノ」相当。女性の高音域を指す標準的表現。
   * 学習コスト: 「女」「高」「音」はどれも初・中級レベルで学ぶ常用漢字のため、比較的取り組みやすい。
7. tenor
   * 提案: 男高音
   * 理由: 中国語ではテノールを「男高音」と呼ぶのが一般的。
   * 学習コスト: 既出の「高」「音」を再利用できる。「男」も基礎的な漢字。
8. trombon
   * 提案: 长号
   * 理由: 中国語で「トロンボーン」は「长号」が一般的。
   * 学習コスト: 「号」はtrumpet(小号)と共通。「长」(簡体字)も使用頻度が高い漢字。
9. tamburin
   * 提案: 铃鼓
   * 理由: 中国語で「タンバリン」に相当する標準的名称。
   * 学習コスト: 「铃」(金偏)と「鼓」はどちらも既出の偏旁(钅/鼓)で構成されるため、学習の負担は比較的軽減される。
10. harmonik
    * 提案: 口琴
    * 理由: 中国語においてハーモニカを指す最も一般的な単語。
    * 学習コスト: 「口」は初級、すでに「琴」も登場しており、学習コストを抑えられる。
11. harmonium
    * 提案: 簧风琴
    * 理由: リードオルガン(ハルモニウム)を指す中国語の定訳。「簧」は「リード(簧片)」を意味する。
    * 学習コスト: 「风」「琴」は既出だが「簧」は新規。ただし他のリード楽器でも使われる可能性がある。
12. diapazon
    * 提案: 音叉
    * 理由: 「音叉」を示す最も直接的な中国語表現。
    * 学習コスト: 「音」は既出、「叉」は画数が少なく、使い回しもある程度期待できる。
13. gam
    * 提案: 音阶
    * 理由: 「音階」(scale)の中国語表現。「gam」はgamutや音階を示す。
    * 学習コスト: 「音」は既出、「阶」は常用漢字(「台阶」「阶层」など)で比較的覚えやすい。
14. ton
    * 提案: 音
    * 理由: 楽音・音程を表す語根。「tone/note」の最も基本的な概念に相当。
    * 学習コスト: 「音」は既出であり、単字なので負担が小さい。
15. melodi
    * 提案: 旋律
    * 理由: 中国語で「メロディ」「旋律」に該当する標準的表現。
    * 学習コスト: 「旋」「律」はどちらも比較的使用頻度が高く、音楽関連で再利用される可能性大。
16. ritm
    * 提案: 节奏
    * 理由: リズムを表す中国語の代表的表現。
    * 学習コスト: 「节」は簡単で頻出、「奏」も音楽関連で再登場の可能性がある。
17. takt
    * 提案: 拍子
    * 理由: 拍子・ビートを表す語。中国語でも「拍子」または「节拍」と言うが、日本語との共通認識も考え「拍子」を選択。
    * 学習コスト: 「拍」は8画、「子」は3画で簡単。「拍」は音楽や動作関連でも使われる。
18. orgen
    * 提案: 管风琴
    * 理由: パイプオルガンを指す標準的な中国語。「管(管楽器)＋风琴(オルガン)」の組合せ。
    * 学習コスト: 「管」「风」「琴」はいずれも既出・あるいは再利用可能な漢字。
19. gurd
    * 提案: 手摇风琴
    * 理由: 手回しオルガン(バレルオルガン、またはハーディ・ガーディ含む)の一般的な言い方の一つ。
    * 学習コスト: 「手」「风」「琴」は既出だが「摇」は新規。ただし「扌(手偏)」は他動詞でも出現が見込まれ、そこまで負担は大きくない。
20. ŝalm
    * 提案: 唢呐
    * 理由: 中国ではシャーム系の管楽器を「唢呐」と総称するのがもっとも近い。日本語の「あし笛」のようにダブルリードの古典的笛のイメージ。
    * 学習コスト: 「唢」「呐」は画数がそれほど少なくはないが、同種の民族楽器として正確に対応する漢字がこれに限られる。
21. ald
    * 提案: 中提琴
    * 理由: アルト(コントラルト)の声域も指す語根だが、エスペラントではヴィオラ(中提琴)の意味でも用いられるため。バイオリン属の命名規則(小提琴/中提琴/大提琴)に則るのが自然。
    * 学習コスト: 「中」「提」「琴」はすでに何度か出現しており、応用範囲が広い。

kontralt

* 提案: 女低
* 理由: 中国語で「contralto」をそのまま1文字で示す常用字は存在せず、「女低音(女低)」は「女性の低声域」を表す一般的な表現の一つ。短縮して2文字「女低」とした。
* 学習コスト: 「女」「低」ともに画数が比較的少なく、ほかの女性声域(女高/女中)や「低音(低)」などに転用できるため、初学者にも覚えやすい。

1. orkestr

* 提案: 乐团
* 理由: 中国語では「管弦乐团」「交响乐团」などが正式だが、短くまとめるなら「乐团」が広く通じる。「乐队」はやや「バンド」の意味合いが強い。
* 学習コスト: 「乐」は音楽関連で頻出し、「团」も「团队/集団」などでよく使われる。画数は多すぎず、転用先も多い。

1. oktav

* 提案: 八度
* 理由: 音程のオクターブは中国語で「八度」と書くのが最も直截。
* 学習コスト: 「八」「度」ともに初級漢字。音程以外でも「度」は「次数」や「温度」などに使われる汎用性が高い。

1. salvi

* 提案: 鼠尾草
* 理由: 「サルビア」の標準的な中国名は「鼠尾草(Salvia属)」。1文字化は困難なので3文字。
* 学習コスト: 「鼠」(13画)はやや多めだが、「尾」「草」は比較的頻度が高い部首や漢字。「草」は植物全般で繰り返し使える。

1. bazilisk

* 提案: 蛇怪
* 理由: バジリスク(basilisk)は「蛇の怪物」という神話的イメージが強いため、簡易に「蛇怪」とした。
* 学習コスト: 2文字でどちらも比較的初級～中級程度。「蛇」は「虫＋它」の組合せで覚えやすい。

1. bram

* 提案: 鲂
* 理由: 「bream」の中国語としては「鲷」や「鲂」などがあるが、内水面の「鲂」(淡水系のブリーム)が比較的画数が少ない。
* 学習コスト: 「鱼(サカナ偏)」の簡体が含まれるため、魚関連の他の割当にも応用が効く。

1. braman

* 提案: 婆罗门
* 理由: バラモン(Brahmin)を指す最も一般的な漢字表記。「婆罗门教」などで広く使われる。
* 学習コスト: やや字数(3文字)と画数はあるが、歴史・宗教関連で学ぶ際には避けられない表記。

1. balzam

* 提案: 香脂
* 理由: 「バルサム(balsam/balm)」は中国語で「香脂」「香膏」など。比較的短く通じやすい「香脂」を採用。
* 学習コスト: 「香」(におい)や「脂」(油脂・脂肪)は日常用語でも使われ、応用が利く。

1. bismut

* 提案: 铋
* 理由: ビスマス(Bi)の中国語正式名。「金属へん＋畢」の字形で元素名として定着。
* 学習コスト: 元素名は特殊だが、理系では必須。1文字に収められる点は利点。

1. vermiĉel

* 提案: 粉丝
* 理由: 「バーミセリ」は小麦系・米系などいろいろあるが、中国語では細い麺状のものを総じて「粉丝」と呼ぶ場合が多い。
* 学習コスト: 日常料理用語で頻繁に目にする。2文字で画数もそこそこ少ない。

1. prunel

* 提案: 黑刺李
* 理由: 「リンボクの実(sloe)」は中国語で「黑刺李」が一般的。
* 学習コスト: 3文字だが、「黑」(黒)「刺」(棘)「李」(スモモの類)はいずれも基礎漢字～中級程度。

1. glan

* 提案: 橡子
* 理由: ドングリ(acorn)は「橡子」が標準表記。
* 学習コスト: 「橡」は「木＋象」の構造で比較的覚えやすい。「子」もごく初歩漢字。

1. karpen

* 提案: 鹅耳枥
* 理由: イヌシデ(hornbeam)は中国語で「鹅耳枥」が一般的。
* 学習コスト: 3文字だが、樹種名として定着している。やや特殊な字形の「枥」を1つ覚えてしまえば応用が利く(他の“木＋××”構造)。

1. frangol

* 提案: 欧鼠李
* 理由: クロウメモドキ(Glossy buckthorn, Rhamnus/Frangula)は中国語で「欧鼠李」とされることが多い。
* 学習コスト: 3文字かつ「鼠」など重めの字が含まれるが、学名に対応する標準表記としては妥当。

1. pini

* 提案: 木麻黄
* 理由: 「マツカサマツ(Casuarina equisetifolia)」は中国名で「木麻黄」。沿岸地域などに生える常緑高木。
* 学習コスト: 3文字だが、「木」「麻」「黄」はどれも頻度が高く、部首や偏旁として馴染みやすい。

1. sorp

* 提案: 花楸
* 理由: ナナカマド属(Sorbus)のうち、日本のナナカマド(Sorbus commixta)は「日本花楸」となるが、代表して「花楸」が簡潔。
* 学習コスト: 2文字。「花」は初級、「楸」は「木＋秋」で比較的覚えやすい。

1. acer

* 提案: 枫
* 理由: カエデ(Maple)は簡体字で「枫」。画数も少なく、日本人にも「楓」の簡体字と分かりやすい。
* 学習コスト: 1文字。木偏＋风(風)なのでイメージしやすい。

1. tili

* 提案: 椴树
* 理由: ボダイジュ属(Tilia)は中国語で「椴树属」。1文字の「椴」だけでは通じにくいので「椴树」とした。
* 学習コスト: 「木」偏に「段」で「椴」。ややマイナーだが、学名の標準表記としては正確。

1. gajl

* 提案: 五倍子
* 理由: 五倍子(gall-nut)を指す中国語表記として一般的。
* 学習コスト: 全体で3文字だが、「五」「倍」「子」はいずれも基本的な漢字。

1. fab

* 提案: 蚕豆
* 理由: ソラマメ(broad bean)の中国語での一般呼称は「蚕豆」。
* 学習コスト: 「蚕」(虫＋天)はやや画数があるが、豆類を示す「豆」とセットで料理等でも頻出。

1. fazeol

* 提案: 菜豆
* 理由: インゲンマメ(Phaseolus)は「菜豆」と総称するのが中国語で一般的。
* 学習コスト: 2文字でどちらも頻度が高い。「菜」は“野菜”“料理”関係で使い回しが効く。

1. datur

* 提案: 曼陀罗
* 理由: チョウセンアサガオ(Datura)は「曼陀罗」が代表的呼称。「洋金花」ともいうが、ここでは知名度の高い「曼陀罗」を採用。
* 学習コスト: 3文字だが、宗教・植物名などで見かける語。「曼」「陀」「罗」それぞれ単体の用例も一定ある。

karob

* + 提案: 角豆
  + 理由: 中国語でキャロブを指す際に「角豆(树)」と呼ぶ例があり、意味も分かりやすい。
  + 学習コスト: 「角」「豆」ともに画数は比較的少なく、いずれも他の語根でも再利用しやすい漢字。

1. cikori
   * 提案: 菊苣
   * 理由: チコリ(チコリコーヒーなどに使う)は中国語で「菊苣」と表記するのが一般的。
   * 学習コスト: 「菊」はやや画数が多い(11画)が、花や植物関連で今後も使われる可能性がある。また「苣」は「レタス(莴苣)」等でも使われる。
2. cedr
   * 提案: 雪松
   * 理由: 「雪松」はレバノン杉など、いわゆる“セダー(Cedar)”として中国語で比較的広く使われる名称。
   * 学習コスト: 「雪」「松」ともに初学者にはそれなりの画数だが、松(マツ)を指す「松」は汎用性が高い。
3. narcis
   * 提案: 水仙
   * 理由: 水仙(スイセン)の中国語表記そのまま。日本語の「水仙」と同形同義。
   * 学習コスト: 「水」「仙」ともに画数が少なく、学習コストは低め。
4. sinap
   * 提案: 芥
   * 理由: からし菜(芥菜)の「芥」が Mustard(マスタード)を表す最短の漢字。
   * 学習コスト: 単一字。「芥」は“ちり・ごみ”の意味もあるが、料理や植物名でも使われる。
5. lonicer
   * 提案: 金银花
   * 理由: スイカズラ(忍冬)の代表的な現代中国語名。生薬などでも「金银花」として広く流通。
   * 学習コスト: 「金」「银」「花」はいずれも常用字で、他の語彙へも転用しやすい。
6. gliciriz
   * 提案: 甘草
   * 理由: カンゾウ(甘草)の中国語名として定着している。
   * 学習コスト: 「甘」「草」はともに画数が少なく、基礎的な漢字。
7. heder
   * 提案: 常春藤
   * 理由: ツタ類を総称して「常春藤」と呼ぶことが多い(特にアイビー)。
   * 学習コスト: 3文字だが、「常」「春」「藤」はそれぞれ他分野でも出現しやすい。
8. urtik
   * 提案: 荨麻
   * 理由: イラクサの標準的な中国語名。
   * 学習コスト: 「荨」はやや馴染みが薄いが、2文字で済む点は妥当。
9. muskat
   * 提案: 肉豆蔻
   * 理由: ニクズク(ナツメグ)の一般的な中国語表記。料理や香辛料として広く使われる。
   * 学習コスト: 「肉」「豆」「蔻」のうち、「肉」「豆」はすでに他語で使われており重複利用が可能。
10. juniper
    * 提案: 杜松
    * 理由: ジュニパー(ネズ属)を指す中国語で「杜松」が使われる。ジン(杜松子酒)の語源でもある。
    * 学習コスト: 「杜」「松」は単純な構造の漢字。
11. mili
    * 提案: 小米
    * 理由: 「キビ」に当たる millet の一種として中国語で「小米」と表現されることが多い(特に粟(アワ)との区別は地域により異なるが、一般的名称としては小米が通用しやすい)。
    * 学習コスト: 「小」「米」はともに非常に頻出・低画数。
12. papav
    * 提案: 罂粟
    * 理由: ケシ(poppy)の標準的な中国語。アヘンの原料としても知られる「罂粟」。
    * 学習コスト: 「罂」と「粟」は合わせて2文字。やや画数はあるが、他で置き換えが難しい固有名。
13. fenkol
    * 提案: 茴香
    * 理由: ウイキョウ(フェンネル)の標準的な中国語。調味料名としてもよく流通。
    * 学習コスト: 「茴」「香」は合わせて2文字。「香」は再利用可能性が高い。
14. ileks
    * 提案: 冬青
    * 理由: モチノキ属(Ilex)全般を「冬青」と総称することが多い。
    * 学習コスト: 「冬」「青」は画数も少なく、いずれも常用。
15. artiŝok
    * 提案: 洋蓟
    * 理由: アーティチョークを中国語で「朝鲜蓟」とも言うが、同じ意味でより簡潔な「洋蓟」も使われる。
    * 学習コスト: 「洋」は水・外来を連想させる常用字、「蓟」はやや画数が多いが、2文字に収まる。
16. kren
    * 提案: 辣根
    * 理由: 西洋ワサビ(ホースラディッシュ)の中国語として「辣根」が一般的。
    * 学習コスト: 「辣」「根」は合わせて2文字。調味料関連での再利用も期待できる。
17. timian
    * 提案: 百里香
    * 理由: タイム(Thyme)の中訳。料理用ハーブとしても「百里香」と呼ばれる。
    * 学習コスト: 「百」「里」「香」それぞれ比較的基本的な漢字。
18. cinam
    * 提案: 桂皮
    * 理由: 肉桂(シナモン)の皮を指す際、中国語では「桂皮」と呼ぶことが多い。
    * 学習コスト: 「桂」「皮」の2文字はいずれもそこまで画数は多くない。
19. kamfor
    * 提案: 樟脑
    * 理由: カンフル(しょうのう)の一般的表記。カンフル樹そのものは「樟」だが、製品としては「樟脑」が定着。
    * 学習コスト: 「樟」はやや画数が多いが、化学品や樹木関連で使用頻度がある。「脑」(脳)も常用。
20. kariofil
    * 提案: 丁香
    * 理由: 丁子(クローブ)の標準的な中国語。「丁香」はリラ(ライラック)の意味もあるが、香辛料文脈で「丁香」といえばクローブを指すことが多い。
    * 学習コスト: 「丁」は筆画2画と極めて少なく、「香」もすでに他で登場しており再利用可能。
21. cipres
    * 提案: 柏
    * 理由: イトスギ類も含め、いわゆる「サイプレス」に近い針葉樹を指す場合、中国語では「柏」や「柏树」を用いることが多い。
    * 学習コスト: 単一字の「柏」で済ませる。汎用的かつ画数(9画)も大きすぎない。

okzal

* + 提案: 酸模
  + 理由: 「スイバ (sorrel)」は中国語で「酸模」が一般的。単字での適切な表現がなく、2文字熟語を採用。
  + 学習コスト: 「酸」「模」はやや画数が多いが、いずれも比較的使用頻度が高く、日本語でも「酸」は「さん(酸っぱい)」、 「模」は「も(模倣/規模など)」の形で見慣れた字。

1. zingibr
   * 提案: 姜
   * 理由: 「ショウガ(ginger)」を表す標準的な簡体字。
   * 学習コスト: 単字で画数も比較的少なく、「生姜」の「姜」と同源と考えれば日本語話者にも把握しやすい。
2. lol
   * 提案: 毒麦
   * 理由: ドクムギ(Lolium temulentum) は日本語でも「毒麦」と書く。中国語でも「毒麦」と表記されることがある。
   * 学習コスト: 「毒」「麦」はいずれも常用漢字で画数も少なめ。「麦」は他の穀物名にも転用しやすい。
3. rabarb
   * 提案: 大黄
   * 理由: 「ダイオウ(rhubarb)」の漢名で「大黄」は薬用名としても定着している。
   * 学習コスト: 「大」「黄」ともに非常に基本的な字で、学習コストが低い。
4. popl
   * 提案: 白杨
   * 理由: 「ハコヤナギ(poplar)」の代表的な中国語表現は「白杨」。
   * 学習コスト: 「白」「杨」は画数が少なく、どちらも頻出字。「杨」自体はポプラ属を指す単字としてもしばしば使われる。
5. peoni
   * 提案: 芍药
   * 理由: 「シャクヤク(peony)」は中国語で「芍药」。日本語でも同字を「シャクヤク」と読む。
   * 学習コスト: 2文字だが、いずれも中華圏・日本語圏で生薬名などとして比較的知られる。
6. kakt
   * 提案: 仙人掌
   * 理由: 「サボテン(cactus)」の最も一般的な中国語名。「仙掌」など短縮形もあるが正式名は「仙人掌」。
   * 学習コスト: 3文字だが、いずれも比較的基本的な字。「仙」「人」「掌」は他でも見かけやすい。
7. spinac
   * 提案: 菠菜
   * 理由: 「ホウレンソウ(spinach)」の標準的な中国語表記。
   * 学習コスト: 2文字でいずれもよく使われる。「菠」「菜」いずれも「草かんむり」が含まれており、他の植物名と共通要素をもつ。
8. kratag
   * 提案: 山楂
   * 理由: 「サンザシ(hawthorn)」の代表的な中国語表記。「山楂(さんざ)」として日本語でも漢方や食品名などで見かける。
   * 学習コスト: 2文字で画数も比較的少なく、「山」も汎用性が高い。
9. mahagon

* 提案: 桃花心木
* 理由: 「マホガニ(mahogany)」の中国語として定着した名称。
* 学習コスト: 4文字とやや長いが、「桃」「花」「心」「木」はいずれも非常に基本的・汎用的な字なので学習コストは低め。

1. tremol

* 提案: 山杨
* 理由: アスペン(aspen)はポプラ属の一種。「白杨」と表記する場合もあるが、「popl(白杨)」と区別するなら「山杨」「欧洲山杨」などがよく使われる。
* 学習コスト: 「山」「杨」は既出(または汎用)の字で、画数も少ない。

1. onobrik

* 提案: 红豆草
* 理由: 「イガマメ(サンフォイン：sainfoin)」は中国語圏で「红豆草」とも呼ばれる。正式な植物学名の直訳は少々複雑なので、比較的わかりやすい通称を採用。
* 学習コスト: 3文字だが「红」「豆」「草」はいずれも常用かつ画数も多くない。すでに他語根でも「草」を再利用しやすい。

1. visk

* 提案: 槲寄生
* 理由: 「ヤドリギ(mistletoe)」は標準的に「槲寄生」。
* 学習コスト: 3文字だが「寄」「生」は頻出字。「槲」はやや画数が多めだが、mistletoeの代表名として定着しているためやむなし。

1. liken

* 提案: 地衣
* 理由: 「地衣(lichen)」は中国語でもそのまま「地衣」。日本語でも「地衣類」と言う。
* 学習コスト: 2文字でどちらも初歩的な字のため負担が小さい。

1. stip

* 提案: 针茅
* 理由: 「ハネガヤ(Stipa属)」は中国語では「针茅属」などと表記。
* 学習コスト: 2文字ながら比較的シンプル。「针(針)」「茅」はどちらも頻出部首や偏旁を含む。

1. filik

* 提案: 蕨
* 理由: 「シダ(fern)」全般を指すシンプルな字として中国語にも「蕨」がある(「蕨类」で総称)。
* 学習コスト: 単字だがやや画数は多め。しかし「シダ類」を指す代表字としてはわかりやすい。

1. hiacint

* 提案: 风信子
* 理由: 「ヒアシンス(hyacinth)」の標準的な中国語名。
* 学習コスト: 3文字だが「风」「信」「子」はいずれも基本字で画数も極端には多くない。

1. hortensi

* 提案: 绣球花
* 理由: 「アジサイ(hydrangea)」の中国語表記で代表的なのが「绣球花」。別名「八仙花」などもある。
* 学習コスト: 3文字だが「花」は再利用しやすく、「绣」「球」も比較的一般的な字。

1. endivi

* 提案: 菊苣
* 理由: 「キクヂシャ(endive)」は中国語で「菊苣」が定訳。
* 学習コスト: 2文字。「菊」は「菊花」と同じ字で再利用しやすい。

1. gardeni

* 提案: 栀子
* 理由: 「クチナシ(gardenia)」の簡体字表記。伝統的には「梔子」とも書くが簡体は「栀子」。
* 学習コスト: 2文字。「子」は既出かつ画数が少ない一方、「栀」はやや見慣れないが、ガーデニアを表す標準字として定着。

1. kalendul

* 提案: 金盏花
* 理由: 「キンセンカ(marigold)」の中国語表記で、直訳すると「金の小盃の花」の意。
* 学習コスト: 3文字ながら「金」「花」は再利用性が高く、「盏」も画数が少なめ。

1. krizantem

* 提案: 菊
* 理由: 「キク(chrysanthemum)」を表す単字。「菊」は日本語でも同字で認知度が高い。
* 学習コスト: 単字化でき、画数もそこまで多くはない(11画)。すでに「菊苣」等で出現しており再利用がきく。